



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道上川郡下川町北町高瀬遺跡の再検討
Author(s)	濱口, 皓; 長沼, 正樹; 出穂, 雅実 他
Citation	環日本海北部地域における後期更新世の環境変動と人間の相互作用に関する総合的研究 : 研究成果報告書 (東京大学常呂実習施設研究報告, 第8集), 146-253
Issue Date	2011-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/59440
Type	journal article
File Information	Hamaguchi_Naganuma2011.pdf



環日本海北部地域における後期更新世の 環境変動と人間の相互作用に関する総合的研究

Research on the Relationships between Human and Environmental Fluctuation
in the Northern Circum Japan Sea Area (NCJSA) in Late Pleistocene

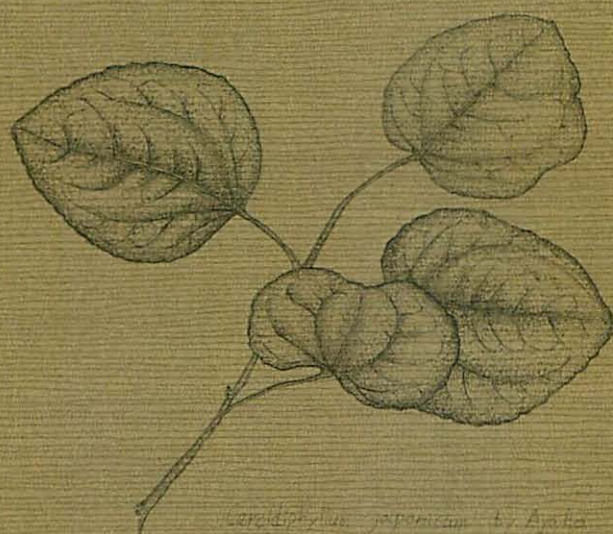
大学共同利用機関法人・人間文化研究機構・総合地球環境学研究所

平成 18 ～ 22 年度プロジェクト 5-3「日本列島における人間・自然相互関係の歴史的・文化的検討」

サハリン・沿海州班

研究成果報告書

東京大学常呂実習施設研究報告 第 8 集



研究代表者 佐藤宏之 (東京大学大学院人文社会系研究科・教授)

平成 23 年 (2011 年) 3 月

東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設

人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

例 言

1. 本書は、大学共同利用機関法人・人間文化研究機構に所属する総合地球環境学研究所（京都市）がおこなった、平成18～22年度プロジェクト研究5-3『日本列島における人間—自然相互関係の歴史的・文化的検討』（プロジェクト・リーダー：湯本貴和・総合地球環境学研究所・教授）の地域研究班「環日本海北部地域における後期更新世の環境変動と人間の相互作用に関する総合的研究」（略称「サハリン・沿海州班」、研究代表者：佐藤宏之・東京大学大学院人文社会系研究科教授）の研究成果報告書である。
2. 本書は6章から構成されており、研究の目的と経過（第Ⅰ章）と研究の総括（第Ⅵ章）を除いた第Ⅱ～Ⅴ章は、サハリン・沿海州班の研究計画に基づき、「植物相変遷の復元」（第Ⅱ章）、「動物相変遷の復元」（第Ⅲ章）、「年代決定・テフラ分析」（第Ⅳ章）、「旧石器文化の変異と変遷」（第Ⅴ章）の各研究組織の研究成果を収録した。研究組織については、第Ⅰ章で記述した。
3. 本書の執筆は、目次に掲げた各研究分担者および研究協力者が担当した。各執筆者の所属については、分担者は第Ⅰ章に記載しているが、協力者については下記の通りである。

赤井文人	鹿児島市教育委員会 学芸員
岩瀬 滂	首都大学東京大学院人文科学研究科 博士課程
尾田識好	東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程
高倉 純	北海道大学大学院文学研究科 助教
高畠孝宗	枝幸町教育委員会 学芸員
鶴丸俊明	札幌学院大学人文学部 教授
長沼正樹	北海道大学先住民・アイヌ文化研究センター 研究員
橋詰 潤	明治大学黒曜石研究センター 研究員
濱口 皓	首都大学東京大学院人文科学研究科 修士課程
伴 雅雄	山形大学理学部 准教授
八木浩司	山形大学地域教育文化学部 教授
役重みゆき	東京大学大学院人文社会系研究科 修士課程
山岡拓也	首都大学東京都市教養学部 助教

編集は、佐藤宏之が行った。

4. 本書に掲載した研究成果以外にも多数の研究結果が得られているので、これは付編に掲載し、参考の便に供した。
5. 本研究の実施にあたり、本文中でお名前を挙げた研究協力者・協力機関以外にも、下記の方々・機関からご協力・ご助言をいただいた。記して謝意を呈したい。敬称略。

高原光 夏木大吾 アンドレイ・タバレフ ヴァリンチーナ・バザロヴァ アレクサンドル・ポポフ ユーリ・ミキエシン アレクサンドル・ワシレフスキ 北見市教育委員会 滋賀県立琵琶湖博物館 首都大学東京都市教養学部考古学研究室 東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室 東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設 北方圏古環境研究室 サハリン総合大学考古学・人類学博物館 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋地理学研究所 ロシア国立極東大学博物館

B. 北海道上川郡下川町北町高瀬遺跡の再検討

濱口 皓・長沼正樹・出穂雅実・高倉 純・赤井文人

1. はじめに

高瀬遺跡は1979年と1985年に調査報告がなされており、旧石器時代と縄文時代の遺物が確認されている(山崎1979、大沼1985)。今回、高瀬遺跡の再整理によって、広郷型細石刃核を伴う石器群を確認することができた。

広郷型細石刃核は「置戸型彫器」(戸沢1967)、「射的山型彫器」(佐藤1961)と呼ばれていたが、鶴丸氏の詳細な分析を経た現在では細石刃核として位置づけられている(鶴丸1979、1985)。日本においては、広郷型細石刃核が出土した遺跡の多くは北海道に分布している。海外で広郷型細石刃核が出土した遺跡には、朝鮮半島中部の上舞龍里Ⅱ遺跡(鶴丸他2000)、ロシア沿海地方南部のノボバルバロフカ遺跡、イリスタヤ1遺跡やゴルバトカ5遺跡(Sato2004)、南サハリンのオリンピック5遺跡(ワシリエフスキー2006)などが挙げられる。

これら広郷型細石刃核を伴う石器群は類例が増加しているが、石材利用戦略の視点から広域移動に行動適応したCore Reduction戦略の1つの極相を示していると説明されている(佐藤2002、Sato2004、佐藤2005)。

このように、高瀬遺跡の報告から今日に至るまでに広郷型細石刃核に関する研究が進展している。かつて報告された石器群を再び現在の視点から再整理・再検討することは少なからず意義があると考え、以下に再整理した結果を報告する。

2. 高瀬遺跡の概要

(1) 遺跡の位置

高瀬遺跡は北海道上川郡下川町北町に所在している。遺跡の地番は北町497-1であり、名寄川の右岸の河岸段丘に位置している(図1)。座標は北緯44°18'52"、東経142°37'30"である⁽¹⁾。

(2) 1979年、1985年の高瀬遺跡調査報告の概要

高瀬遺跡は1962年に中内伊勢吉氏によって発見され、1963年に確認調査が行われた。その後、1979年にモサナル遺跡の報告書の附編として報告された。出土した石器は計482点であり、報告者の記載による石器群の組成は、細石刃267点、石刃96点、削片51点、彫器35点、端削器(搔器)12点、尖頭器5点、彫器未成品5点、剥片4点、平礫器4点、槌状剥離のある石器1点、両面加工石器1点、石核(石核斧?)1点と報告されている(山崎1979)。山崎氏によれば、発掘区の位置は段丘の2段目の高いところに10×10m程のTトレンチを設定したとしている⁽²⁾。

1984年に農道整備事業に伴って再び高瀬遺跡の調査が行われた(大沼1985)。この調査は1963年の調査地点のある段丘の縁辺を発掘している。第1地区のA地点、B地点、C地点の3ヶ所を調査しており、A地点が1963年の調査地点から最も近い場所に位置している。報告者によれば、A地点からはポイントの破片1点、船底形石器1点、エンドスクレイパー1点、スクレイパー1点の計4

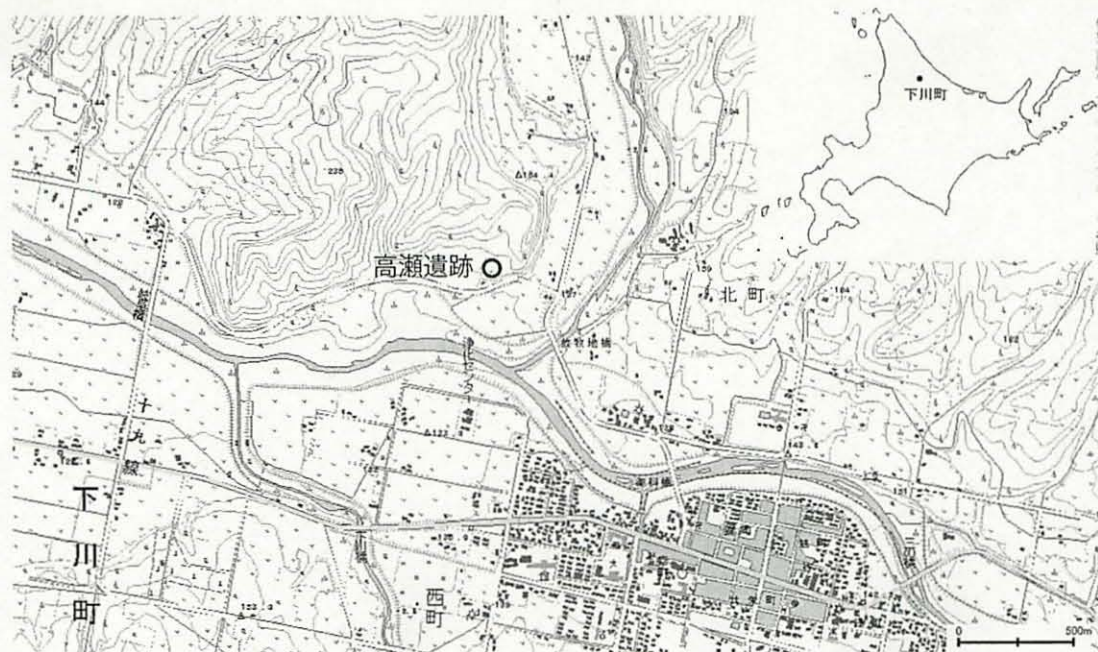


図1 高瀬遺跡の位置

点が出土していると報告している。B地点からはスクレイパー4点、ブレイド2点、石鏃の破片1点、石槍の未製品1点、剥片270点の計278点が出土し、C地点からは剥離痕のあるブレイド1点とフレイク1点が出土していると報告している（大沼1985）。これらは今回の再整理の対象になっていない。

上記の発掘調査における遺物の取り上げについては、遺跡の断面図や平面図が確認できないため、平面分布や垂直分布が検証できない状況である。しかしながら、他の遺跡の広郷型細石刃核を伴う石器群の器種組成や技術形態の特徴を比較することによって、本資料をある程度まとまりのある石器群として扱うことが可能であると考えている。

(3) 高瀬遺跡における発掘・表採資料の保管状況と帰属

今回の再整理を行った資料は、1963年の発掘資料と遺跡内で表採された資料である。1963年の調査で出土した資料を本稿ではSTY（下川町北町高瀬遺跡山崎博信調査資料）と呼称する。上記でも述べたように出土した石器は計482点であるが、今回確認できたSTYの総数は476点である。この資料は箱に入れられて下川町郷土資料保存施設に保管されていた。石器には数字が直接書かれているものと、アルファベットと数字が書かれたシールが貼られているものがあった。これらは本来グリッド番号や層位などの情報であると考えられるが、今回の再整理では詳細を調べることはできなかった。しかしながら、報告書の写真や実測図を確認したところ、高瀬遺跡出土の資料であることは確実である。

高瀬遺跡の表採資料は帰属の異なる3つの資料がある。1つ目は1993年に下川町教育委員会が、中内伊勢吉氏によって高瀬遺跡で採集された資料を整理して報告をした資料である（下川町教育委員会1993）。本稿ではこの資料をSTS（下川町北町高瀬遺跡下川町教育委員会整理資料）と呼称する。報告された資料の総数は223点であり、今回確認できた資料の総数は188点である。この資料は箱に入れられて下川町郷土資料保存施設に保管されていた。石器には遺跡の登録番号と整理番号が注記

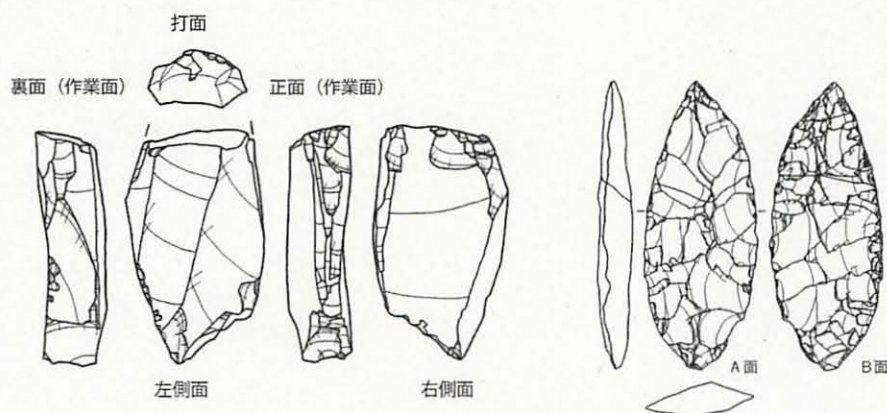


図2 記載における広郷型細石刃核と尖頭器の各面の呼称

されている。

2つ目は STY 調査地点付近で出穂雅実が採集した資料である。本稿ではこの資料を表採 1 と呼称する。この資料の総数は 1 点である。

3つ目は 1985 年の高瀬遺跡調査報告書において報告された表採資料と未報告の表採資料である。この資料も中内伊勢吉氏によって高瀬遺跡で採集された資料である (大沼 1985)。本稿ではこの資料を表採 2 と呼称する。報告された資料の総数は 31 点である (大沼 1985)。今回確認できた資料は 19 点である。また、未報告の採集資料が 9 点 (石核 1 点、彫器 2 点、石刃 5 点、削片 1 点) 確認できた。報告された資料は下川町ふるさと交流館に展示されていた。未報告の資料は箱に入れられて下川町郷土資料保存施設に保管されていた。この資料には遺跡の登録番号が注記されている。

資料が確認できたものは本稿末の表 1 に属性データを示した。また、実見したが計測することができなかった資料も表に示した。

3. 資料の再整理

(1) STY (下川町北町高瀬遺跡山崎博信調査資料)

以下の報告は筆者が分類した器種ごとに提示していく。器種によっては複数の石材がみられるので、その場合は石材ごとに提示している。本稿における広郷型細石刃核の各面は尾田 (2009) を参照して図 2 のように呼ぶ。また、尖頭器の左側の平面図を A 面、右側を B 面とした。

細石刃核 (図 3)

細石刃核とした資料は黒曜石製 8 点であり、いずれも広郷型細石刃核 (鶴丸 1979、1985) である。すべて図示している。図 3 : 1 (STY264) は比較的薄手の石刃を素材とする。素材の打面側に細石刃剥離の作業面を設定し、裏面にも折れ面側からの槌状剥離が確認できる。細石刃剥離の作業面は素材の右肩斜めに設定されており、長さ 3cm 前後の直線的な細石刃が剥離されている。細石刃剥離面を正面とした時、左側面に平坦な加工が施されている。また、細石刃剥離の末端部に左側面側への加工が施されている。最大厚は 8.8mm である。図 3 : 2 (STY270) は厚手の石刃を素材とする。左側面から見て右側縁に細石刃剥離の作業面を設定している。最大で長さ 5cm 前後の直線的な細石刃が剥離されている。左側面に平坦な加工が施されており、裏面には打面調整が施されている。



図3 細石刃核

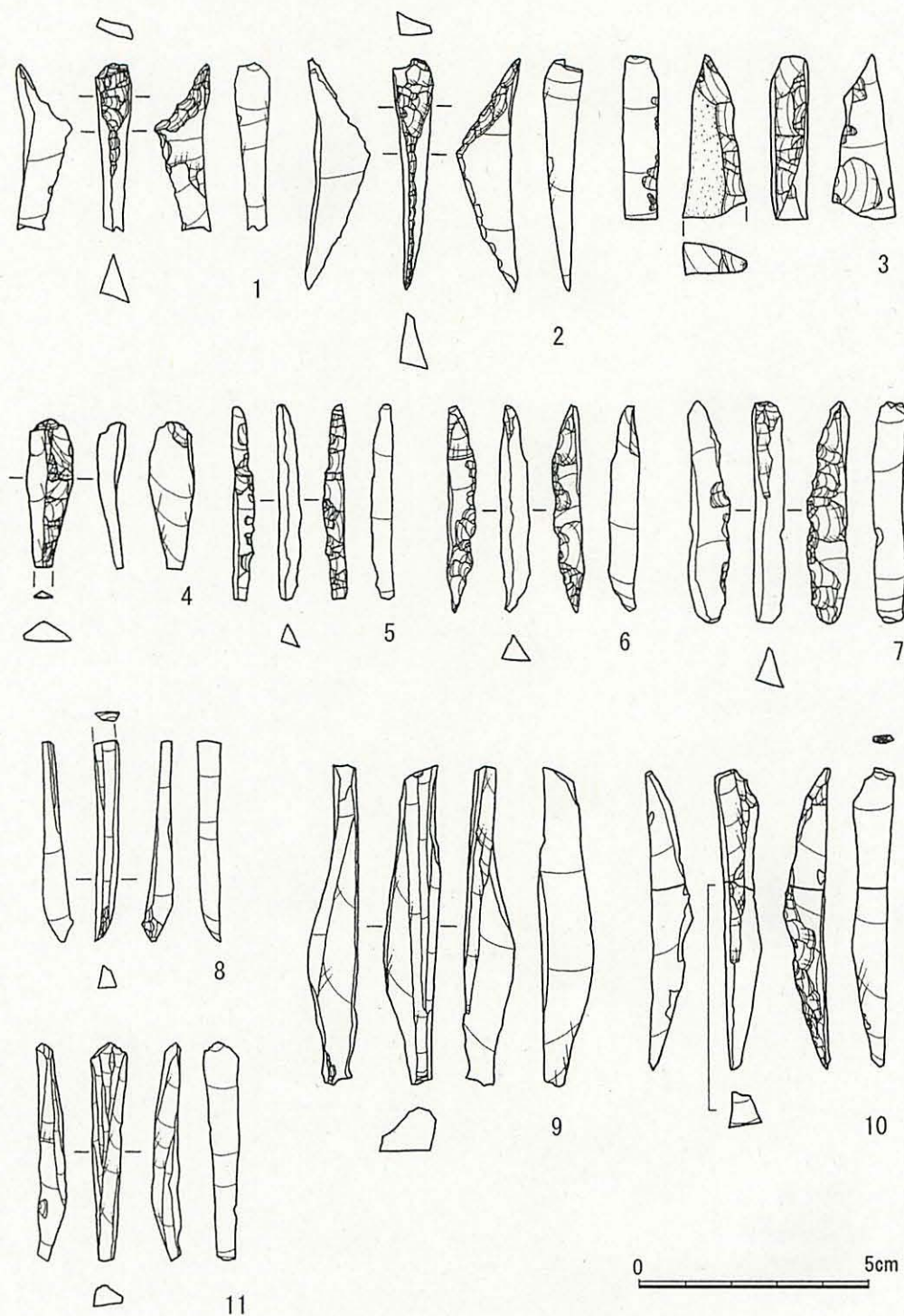


図4 削片

最大厚は 8.8mm である。表面の光沢が消失しており、被熱の可能性がある（中沢 1998）。図 3：3(STY263) は厚手の石刃を素材とし、左側面から見て右側縁に作業面を設定している。上端が折損した後に、この折れ面を打面とした細石刃の剥離が試みられている。最大厚は 14.0mm である。図 3：4(STY265) は比較的薄手の剥片を素材とし、左側面から見て右側縁に細石刃剥離の作業面を設定している。右・左側面に被熱で割れている部分がある。最大厚は 6.4mm である。図 3：5(STY268) は厚手で自然面を広く残す剥片を素材とし、左側面から見て右側縁に細石刃剥離の作業面を設定している。上端は正面→裏面方向に折損している。下端は裏面→正面方向に槌状剥離が見られる。裏面には下端からの階段状の剥離が見られる。最大厚は 10.8mm である。図 3：6(STY267) は厚手の石刃を素材とし、左側面から見て右側縁に細石刃剥離の作業面を設定している。下端は正面→裏面方向に折損している。細石刃剥離面は 5 面確認できるものの、打面方向から幅 1.5cm の大きな槌状剥離によって細石刃剥離面のほとんどがなくなっている。最大厚は 12.0mm である。図 3：7(STY269) は素材の形状は不明である。作業面が正面と裏面の両方に見られる。上端・下端とも折損している。裏面の細石刃剥離面を見ると、折れてから細石刃剥離が行われている。最大厚は 8.6mm である。図 3：8(STY266) は厚手の石刃を素材とし、左側面から見て右側縁に細石刃剥離の作業面を設定している。上端・下端とも裏面→正面方向で折損している。最大厚は 10.9mm である。右側面は被熱により光沢を消失し、リング・フィッシャーが見えにくくなっている。

削片 (図 4)

削片とした資料は黒曜石製 29 点である。その中で 12 点 (11 個体) 図示している。これらは細石刃製作に関わる資料である。図 4：1(STY315) は広郷型細石刃核の打面形成削片である。上端部と左側面に細かい二次加工がみられる。図 4：2(STY314) は広郷型細石刃核の打面形成削片である。上端部と左側面に細かい二次加工がみられる。図 4：3(STY312) は一次削片である。背面に自然面が残し、右側面に腹面から背面に向かって二次加工がみられる。図 4：4(STY370) は一次削片である。背面の右半分に二次加工がみられる。図 4：5(STY297) は一次削片である。右側面・左側面には細かい二次加工が見られる。図 4：6(STY306) は一次削片である。右側面・左側面には細かい二次加工が見られる。図 4：7(STY311) は一次削片である。右側面・左側面には細かい二次加工が見られる。背面の一部に打面側からの槌状剥離が施されている。図 4：8(STY302) は二次削片である。先行する細石刃剥離面が 2 面みられる。図 4：9(STY305) は二次削片である。先行する細石刃剥離面が 4 面みられる。図 4：10(STY320 + 318) は二次削片である。先行する細石刃剥離面が 1 面みられ、右側面には細かい二次加工がみられる。図 4：11(STY310) は二次削片である。先行する細石刃剥離面が 5 面みられる。

細石刃 (図 5～図 10)

細石刃とした資料は黒曜石製 246 点である。その中で 242 点を図示した。細石刃は折れているものがほとんどであり、完形のものはいくつかある。図 5：1～6 は、完形あるいは完形に近い資料である。最大幅は図 5：1～3 が 3mm、図 5：4～5 が 4mm、図 5：6 が 5mm である。図 5：7～48 と図 6：1～14 は細石刃の打点を残す資料である。最大幅は図 5：7～10 が 3mm、同 5：11～26 が 4mm、図 5：27～43 が 5mm、図 5：44～48 と図 6：1～10 が 6mm、図 6：11～14 が 7mm である。図 7、図 8、図 9、図 10：1～16 は細石刃の打面と末端を欠損する資料である。最大幅は図 7：1～4 が 2mm、図 7：5～32 が 3mm、図 7：33～54 と図 8：1～32 が 4mm、図 8：33～48 と図 9：1～21 が 5mm、図 9：22～48 と図 10：1～6 が 6mm、図 10：7～

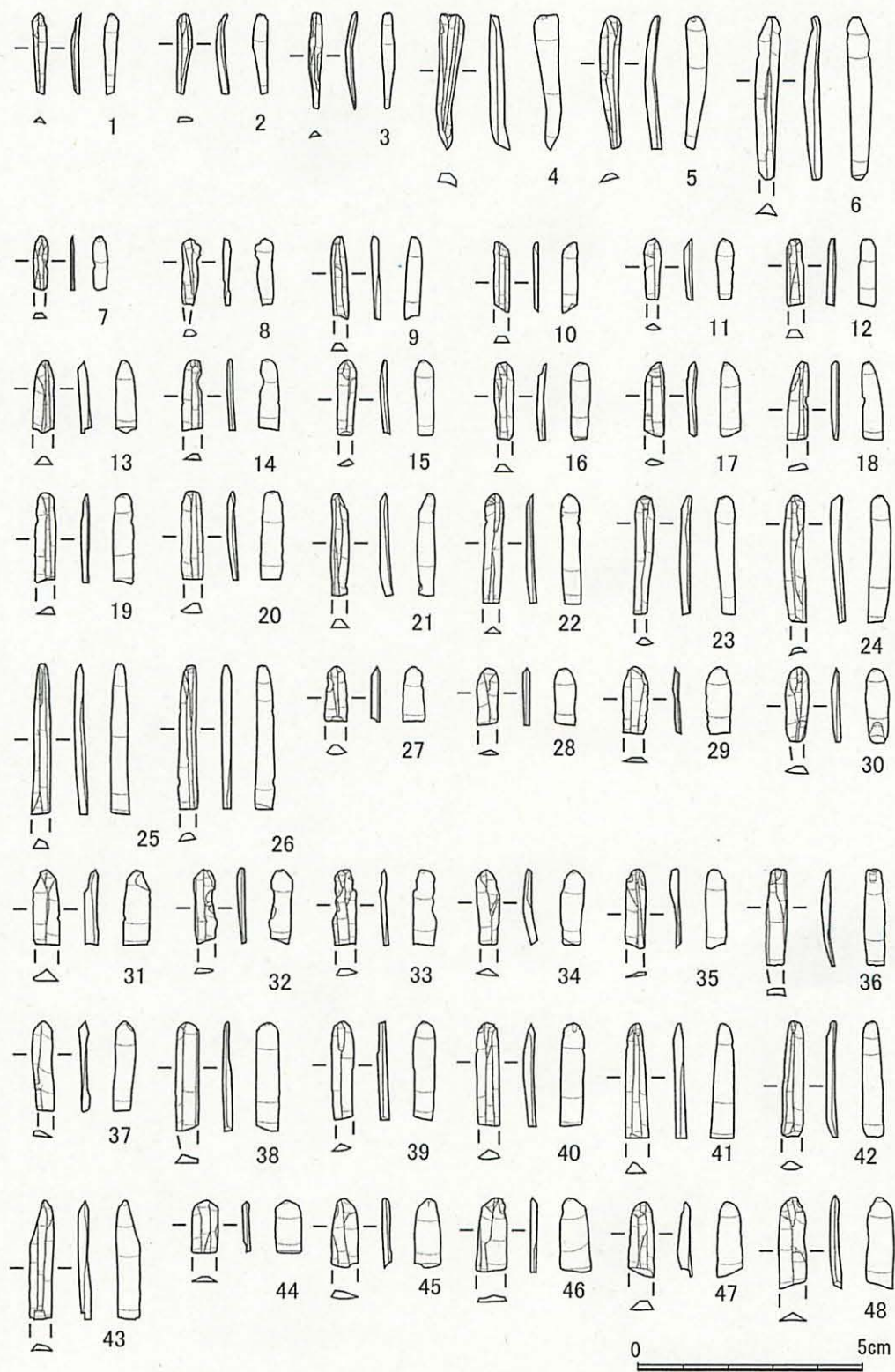


図5 細石刃(1)

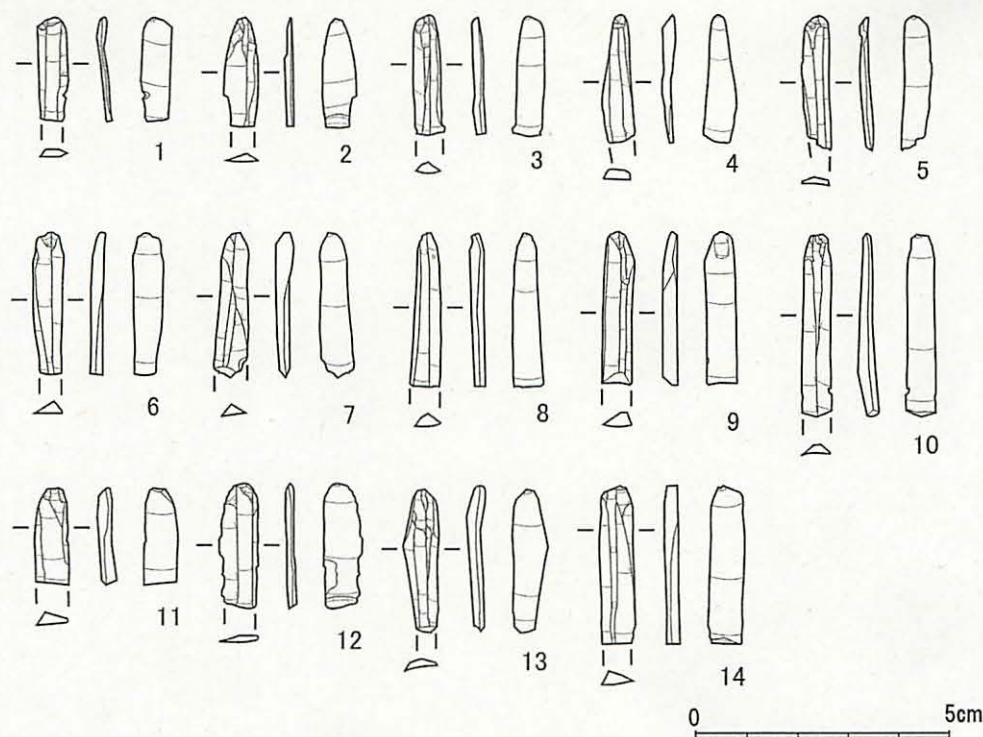


図6 細石刃 (2)

8が7mm、図10：9～16が8mmである。図10：17～30は細石刃の末端部を残す資料である。最大幅は図10：17が2mm、図10：18～21が3mm、図10：22～27が4mm、図10：28～29が5mm、図10：30が8mmである。

石刃 (図11、図12)

石刃とした資料は黒曜石製27点、チャート製35点、硬質頁岩製3点の計65点である。その中でチャート製7点(図11：1～7)、黒曜石製6点(図12：1～6)、硬質頁岩製1点(図12：7)の計14点を図示した。両側縁が平行し、背面に両側縁と平行する稜をもち、長幅比が2:1以上のものを石刃とした。図11：1(STY410)はチャート製の石刃の打点を残す資料であり、細かい打面調整がみられる。図11：2(STY403)はチャート製の石刃の打点を残す資料であり、頭部調整がみられる。図11：3(STY391)はチャート製の石刃であり、細かい打面調整がみられる。図11：4(STY401)はチャート製の石刃であり、上端部の折れ面は背面から腹面に向かって折れている。図11：5(STY395)はチャート製の石刃であり、打面調整がみられる。図11：6(STY399)はチャート製の石刃であり、背面には複数の方向からの剥離がみられる。図11：7(STY397)はチャート製の石刃であり、上端部の折れ面は腹面から背面に向かって折れている。図12：1(STY375)は黒曜石製の石刃であり、上端部・下端部ともに折れている。図12：2(STY418)は黒曜石製の石刃であり、背面の一部に擦痕がみられる。上端部・下端部ともに折れている。図12：3(STY373)は黒曜石製の石刃であり、背面の右側には細かい調整がみられる。図12：4(STY381)は黒曜石製の石刃であり、頭部調整がみられる。図12：5(STY374)、黒曜石製の稜付きの石刃であり、作業面形成の際に剥離されたものである。背面左側にみられる稜は右側縁から左側縁に向かって剥離されている。図12：6(STY380)黒曜石製の打面再生剥片であり、背面の一部に擦痕がみられる。図12：7(STY400)は頁岩製の石刃であり、打面に細かい調整が施され、背面の右側縁に細かい二次加工が施されている。

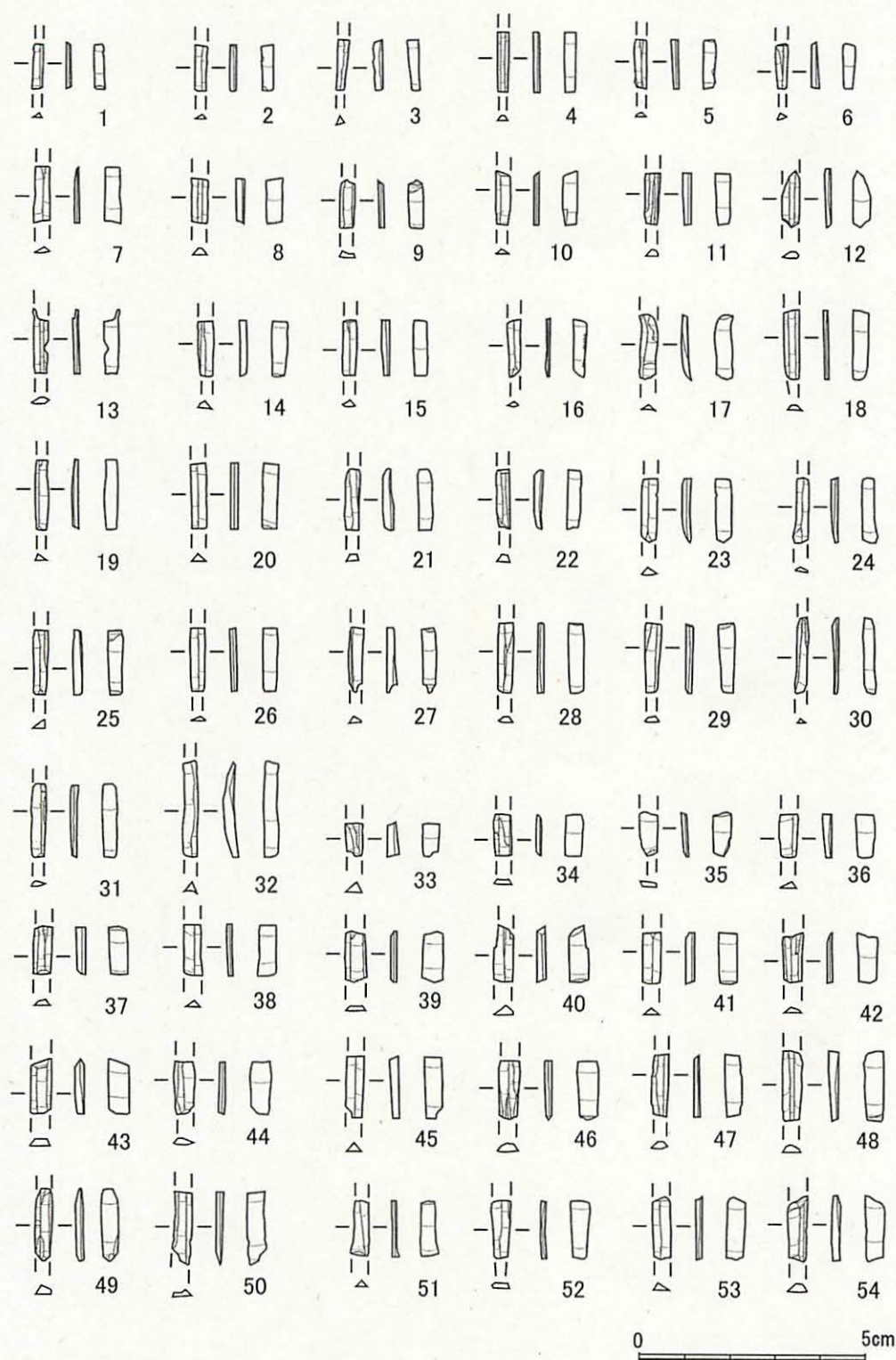


図7 細石刃 (3)

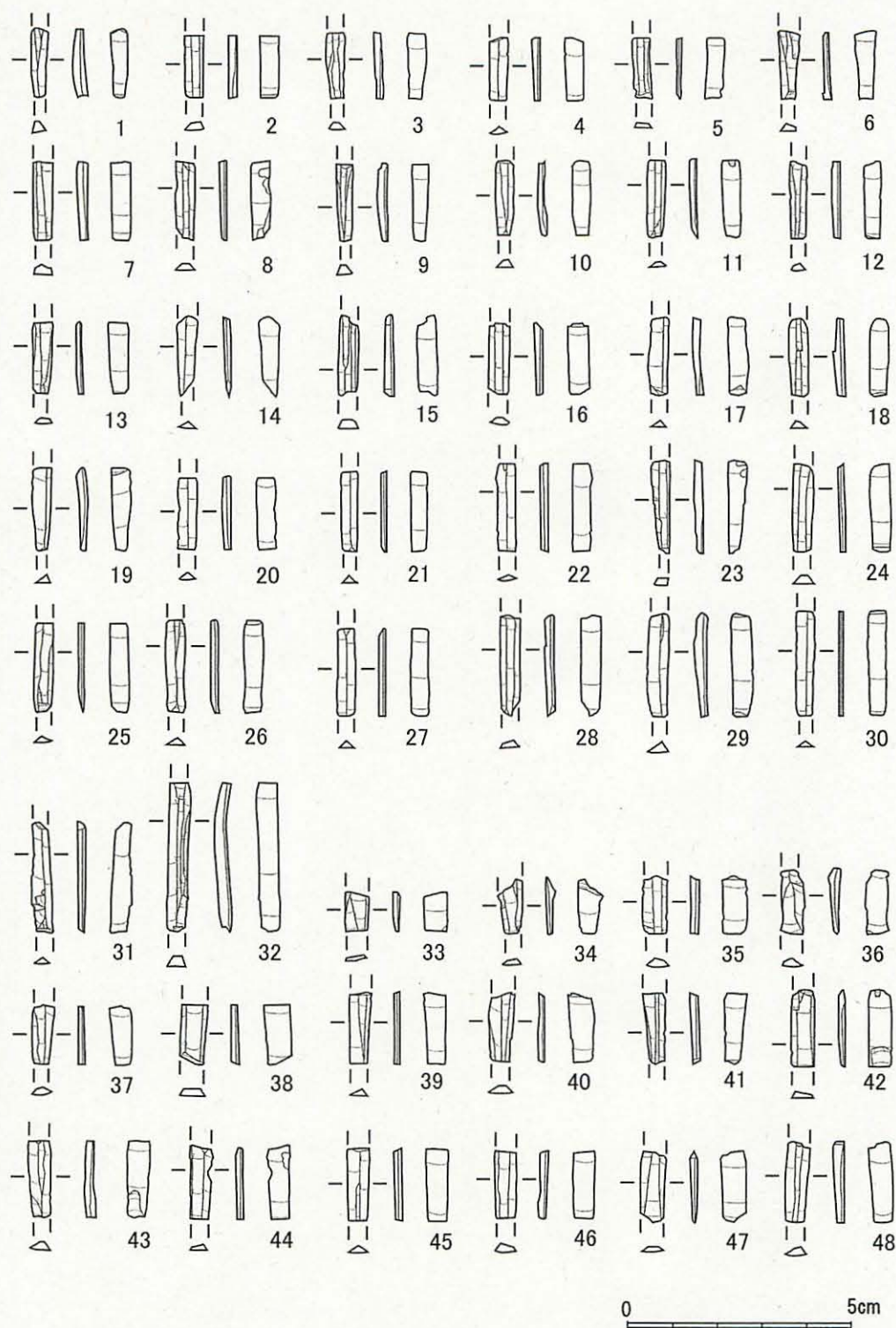


図8 細石刃 (4)

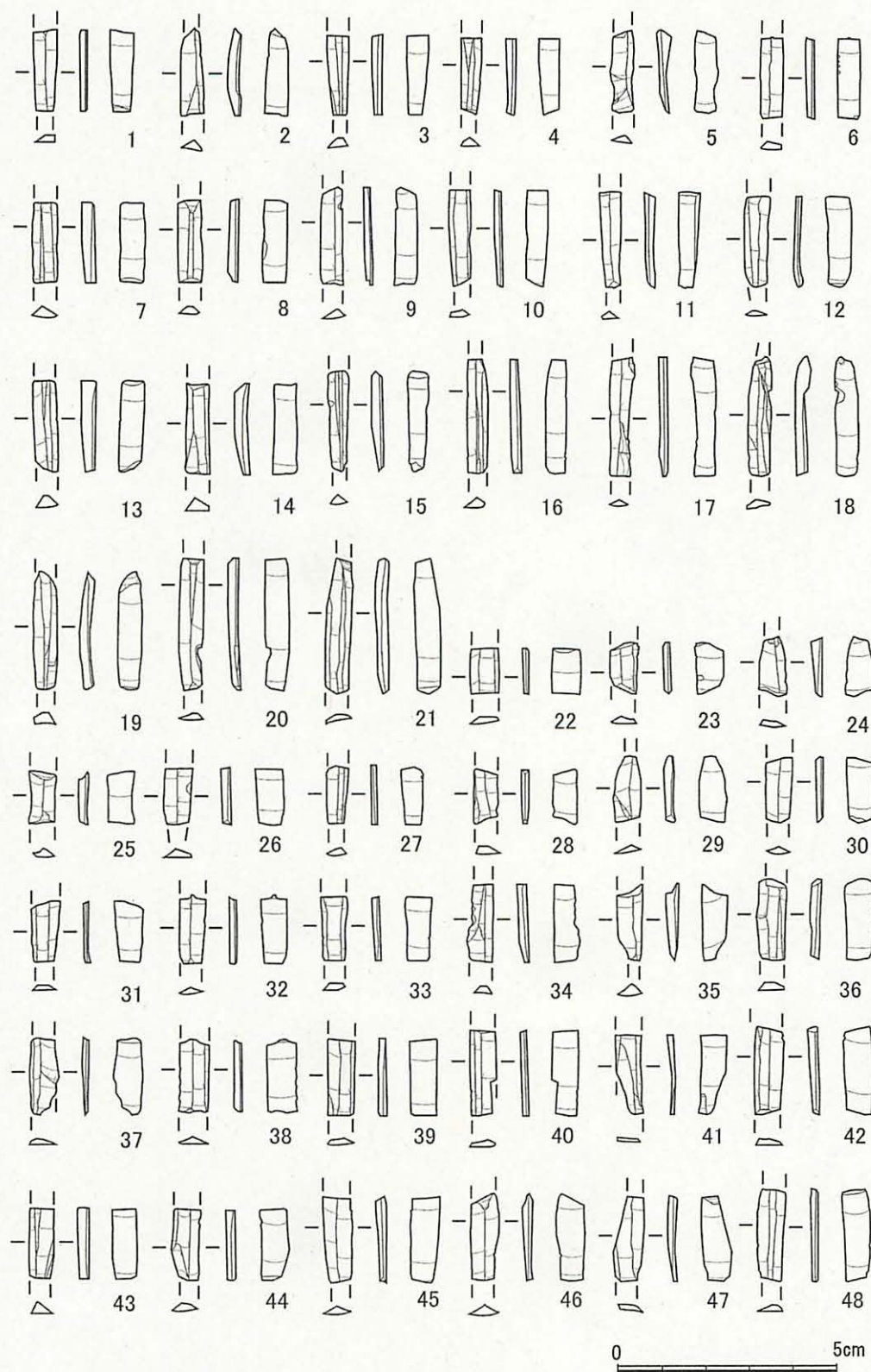


図9 細石刃 (5)

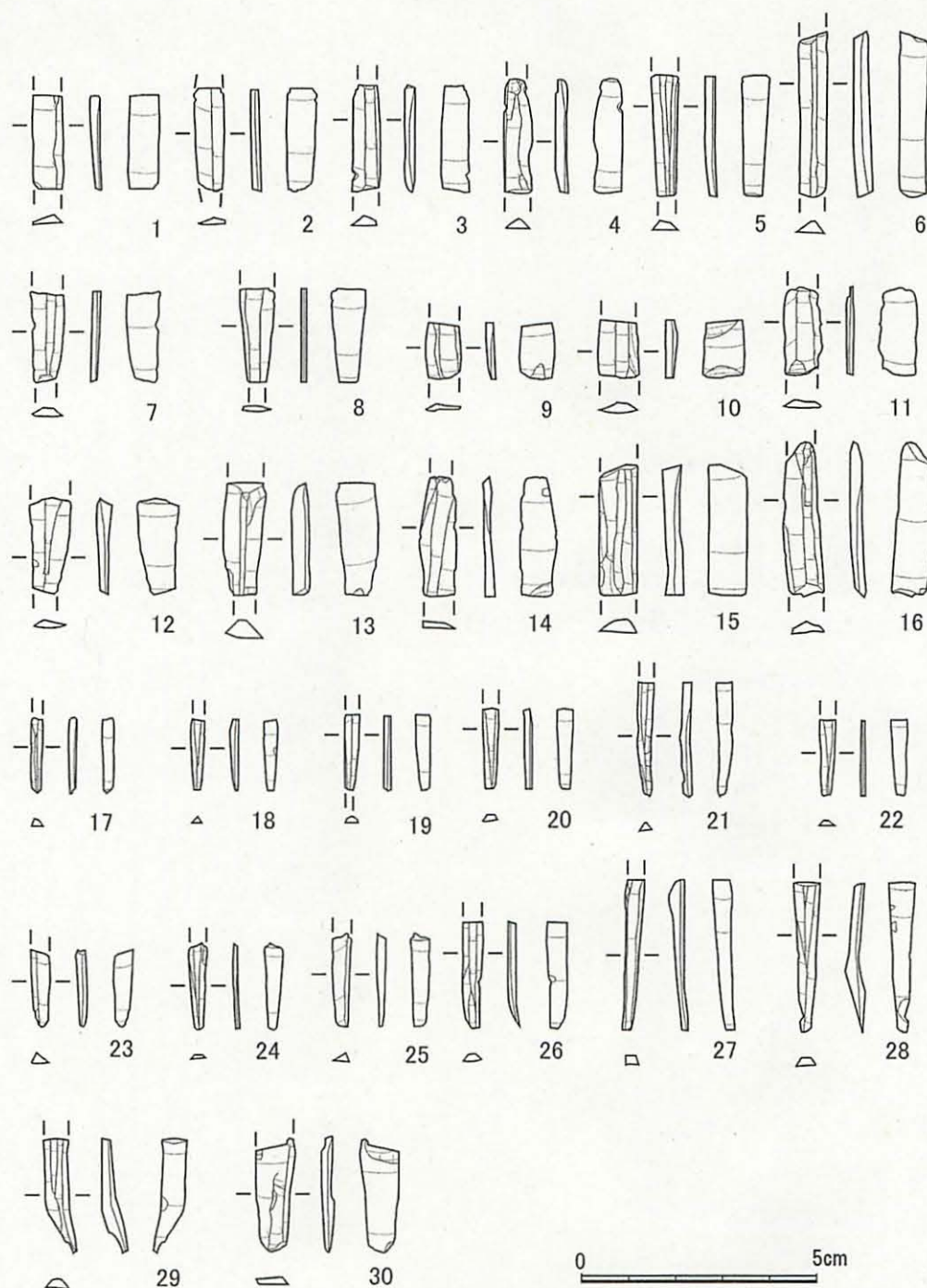


図 10 細石刃 (6)

彫器 (図 13～図 18)

彫器とした資料は黒曜石製 10 点、チャート製 16 点、硬質頁岩製 2 点の計 28 点である。その中で黒曜石製 8 点 (図 13: 1～3、図 14: 1～5)、チャート製 15 点 (図 15: 1～3、図 16: 1～6、図 17: 1～6)、硬質頁岩製 2 点 (図 17: 7～8) の計 25 点を図示した。図 13: 1 (STY279) は剥片または石刃を素材とし、右側縁に上端部から下端部に向かって槌状剥離が施されている。また、背面の右側から左側にかけて斜めにも槌状剥離が施されている。下端部には腹面から背面に向かって平坦な二次加工が連続的に施されている。図 13: 2 (STY276 + 388) は比較的薄手の石刃を素材とし、左側縁に長さが約 6cm の槌状剥離が施されている。素材の上端部・下端部ともに細かい二次加工が施

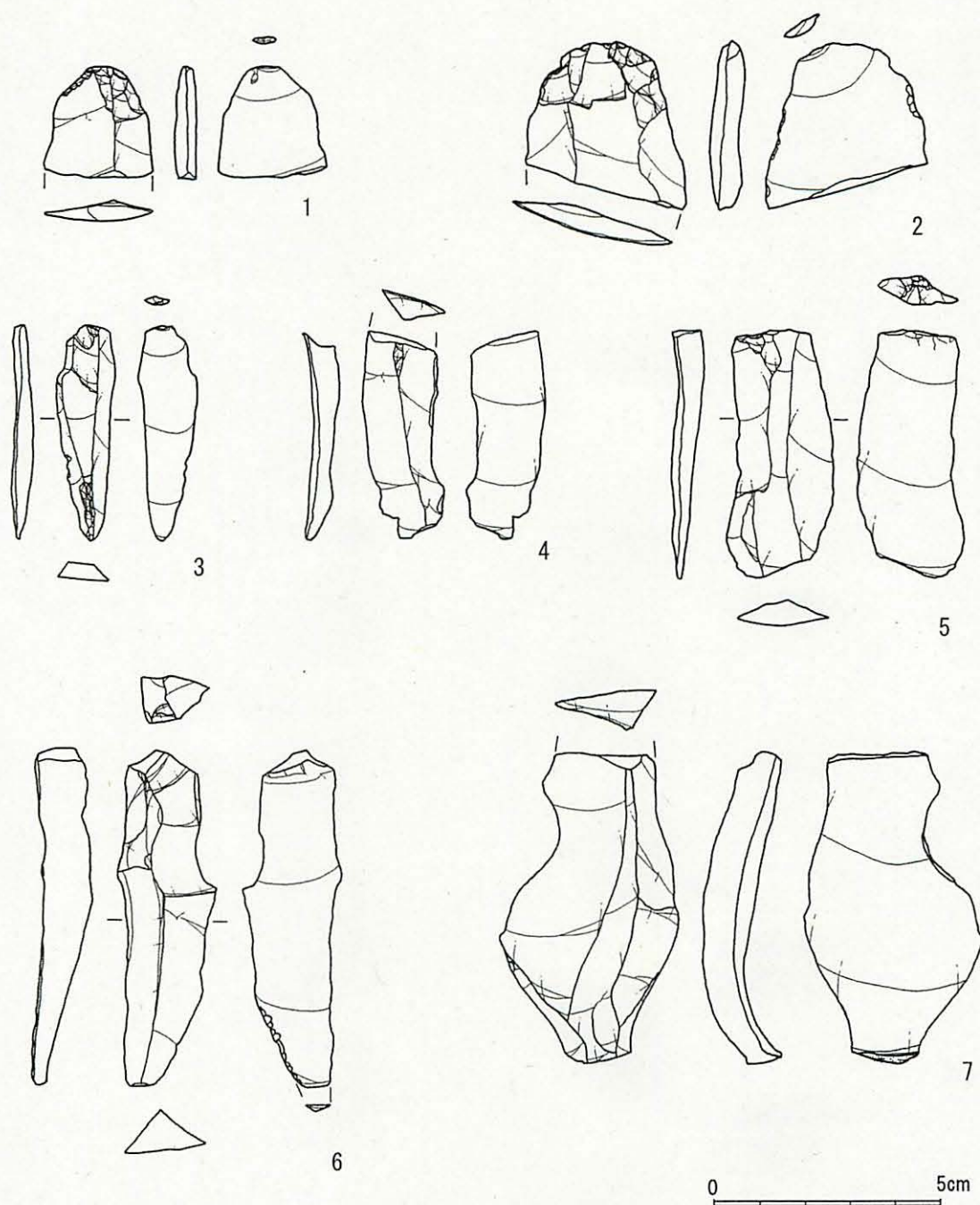


図 11 石刃 (1)

されており、右側縁には微細剥離が見られる。図 13 : 3 (STY278) は石刃を素材とし、槌状剥離は右側縁に上端部から下端部にかけて設定されている。上端部と背面の左側には入念な二次加工が施されており、下端部は背面から腹面に向かって折れている。被熱によって全体が白色化している。図 14 : 1 (STY273) は、比較的薄手の石刃を素材とし、両側縁の腹面に上端部から下端部にかけて槌状剥離が施されている。上端部に槌状剥離面作出のための打面調整が入念に施してあり、右側縁には細かい二次加工が施してある。図 14 : 2 (STY277) は、素材は不明であるが石刃の可能性が高く、左側縁に上端部から下端部にかけて槌状剥離が施されており、それに切られている槌状剥離がもう 1 つ見られる。右側縁には下端部からの槌状剥離が見られ、腹面と背面が被熱によって光沢を失っている。図 14 : 3 (STY272 + 307) は、比較的厚手の石刃 (STY272) を素材とし、ほぼ中央で折れている。

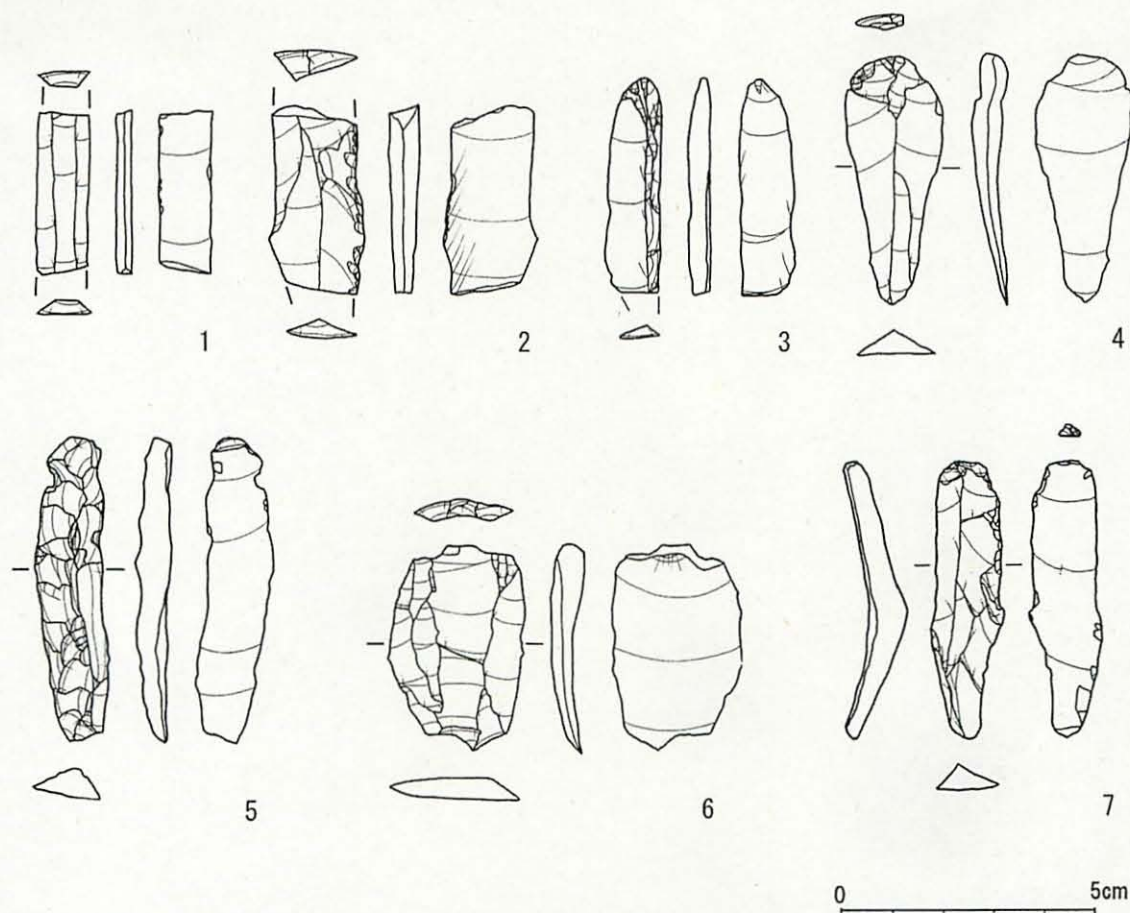


図 12 石刃 (2)

被熱によって石器全体が光沢を失っている。下端部の折れ面は被熱の影響を受けておらずおそらく被熱後に折れたと考えられる。また、削片 (STY307) が接合しており、削片は被熱の影響を受けていないことから、被熱前に本体から剥離されたと考えられる。図 14 : 4 (STY275) は、石刃を素材とし、右側縁に下端部から上端部に向かって槌状剥離が施されており、さらにそれを切るように上端部からの槌状剥離が施されている。背面の左側は左側縁からの平坦な二次加工が上端部から下端部まで施されている。下端部の折れ面は背面から腹面に向かって折れている。図 14 : 5 (STY274) は、剥片を素材とし、右側縁の腹面に幅が約 1cm の槌状剥離が上端部から施されており、また下端部からの短い槌状剥離も入っている。上端部の折れ面は背面から腹面に向かって折れている。最大厚は 15.4mm である。図 15 : 1 (STY290) は打面転移あるいは石刃核の稜形成に関わる剥離面を背面にもつ剥片を素材とし、両側縁に上端部から下端部にむかって槌状剥離が施されている。左側縁の方が右側縁よりも長い槌状剥離が施されている。図 15 : 2 (STY281) は石刃を素材とし、両側縁に槌状剥離が施されている。左側縁は上端部から下端部にむかって、右側縁は下端部から上端部にむかって槌状剥離が施されている。上端部には細かい二次加工が施され、下端部の折れ面は背面から腹面にむかって折れている。図 15 : 3 (STY288) は石刃を素材とし、左側縁の上端に短い槌状剥離が施されている。下端部の折れ面は腹面から背面にむかって折れている。図 16 : 1 (STY296) は稜つき石刃を素材とし、槌状剥離は素材腹面の右側から左側にかけて横位に施されている。図 16 : 2 (STY293) は薄手の剥片を素材とし、左側縁に槌状剥離が斜めに施されている。上端部には槌状剥離面作出のための打面調整が施されている。図 16 : 3 (STY280) は剥片を素材とし、左側縁にほぼ垂直に下ろすように幅が約 2mm

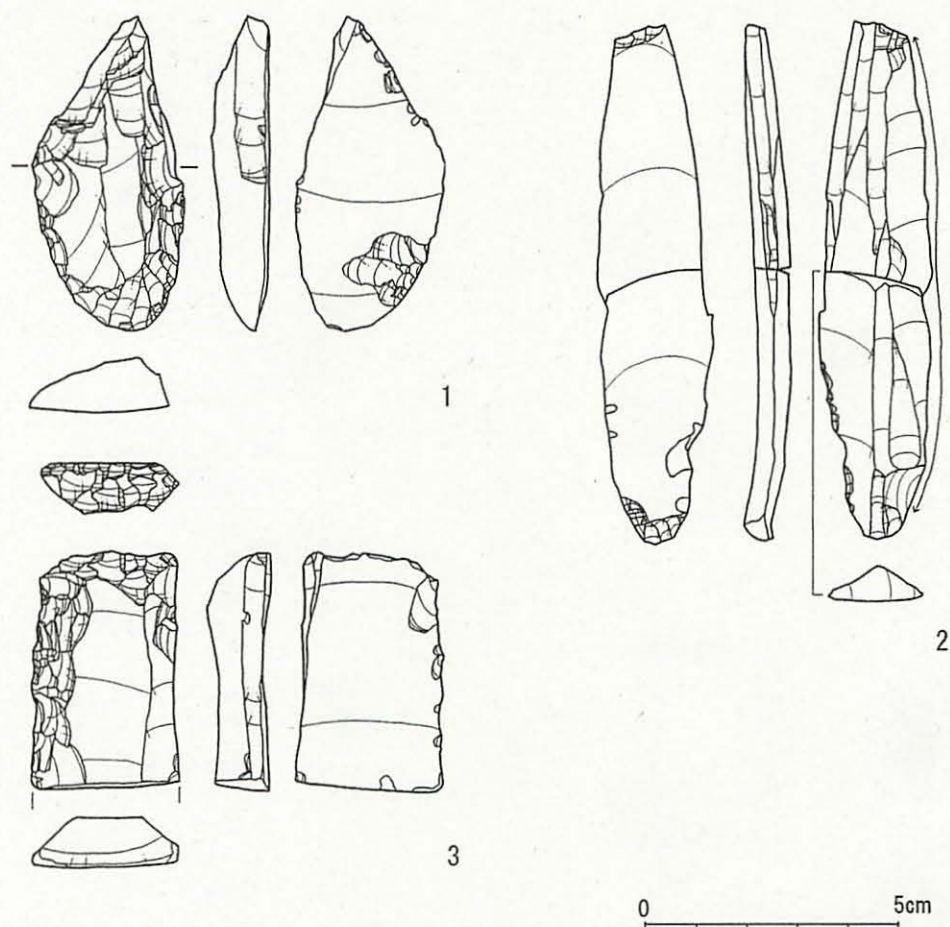


図 13 彫器 (1)

の槌状剥離が施されている。背面の下端に抉入状の剥離が入っている。被熱の可能性がある。図 16 : 4 (STY289) は石刃または剥片を素材とし、左側縁にほぼ垂直に下ろすように槌状剥離が施されている。背面の上部には右側縁に腹面から背面に向かって二次加工が施されている。図 16 : 5 (STY285) は石刃を素材とし、左側縁にほぼ垂直に下ろすように、長さが約 5cm を測る槌状剥離が施されている。上端部に槌状剥離面作出のための打面調整が施されている。図 16 : 6 (STY398) は石刃を素材とし、右側縁の上端に短い槌状剥離がみられる。この槌状剥離面は、背面右側の下端部から上端部にかけての剥離面によってほとんどが失われていると考えられる。上端部には槌状剥離面作出のための打面調整が施されている。下端部は背面から腹面に向かって折れている折れ面がある。図 17 : 1 (STY292) は剥片を素材とし、左側縁にほぼ垂直に下ろすように槌状剥離が施されている。上端部には槌状剥離面作出のための打面調整が施されている。下端部の折れ面は背面から腹面に向かって折れている。図 17 : 2 (STY287) は剥片を素材とし、右側縁にほぼ垂直に下ろすように槌状剥離が施されている。上端部には槌状剥離面作出のための打面調整が施されている。下端部の折れ面は腹面から背面に向かって折れている。図 17 : 3 (STY283) は剥片を素材とし、左側縁にほぼ垂直に下ろすように槌状剥離面が施されている。背面には大きな剥離が確認できる。下端部の折れ面は腹面から背面にむかって折れている。図 17 : 4 (STY294) は石刃を素材とし、左側縁にほぼ垂直に下ろすように槌状剥離が施されている。上端部には槌状剥離面作出のための打面調整が施されている。下端部の折れ面は背面から腹面に向かって折れている。図 17 : 5 (STY284) は剥片を素材とし、左側縁にほぼ垂

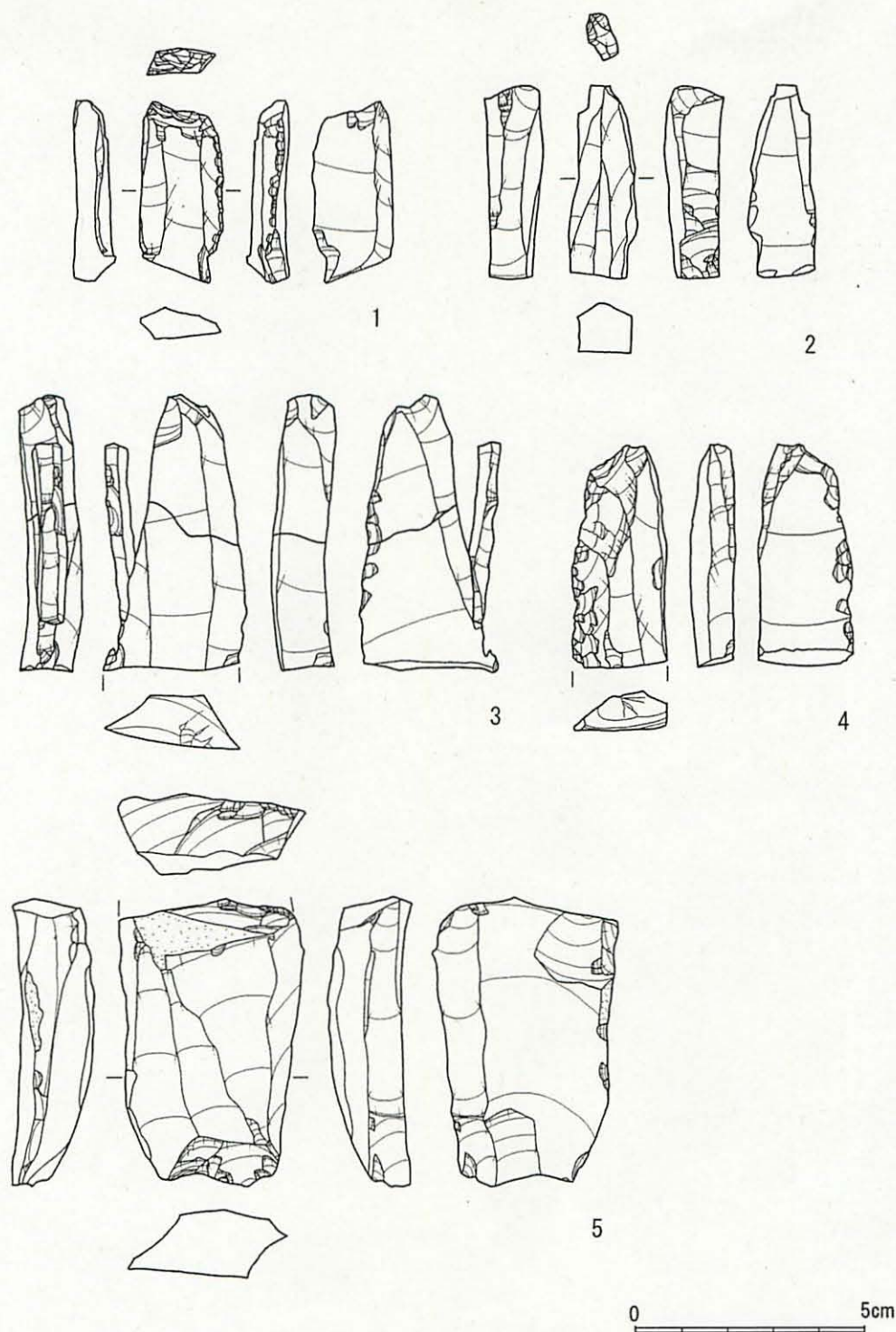


図 14 彫器 (2)

直に下ろすように樋状剥離が施されている。樋状剥離は上端部から下端部にむかって約 2cm のところで段状になっている。右側縁は腹面から背面に向かって急角度な二次加工が施されており、下端部の折れ面は背面から腹面にむかって折れている。図 17 : 6 (STY286) は石刃を素材とし、左側縁にほぼ垂直に下ろすように樋状剥離が施されている。下端部には腹面から背面に向かって急角度な二次加工が施されており、上端部の折れ面は左側縁から右側縁にむかって折れている。図 17 : 7 (STY282)

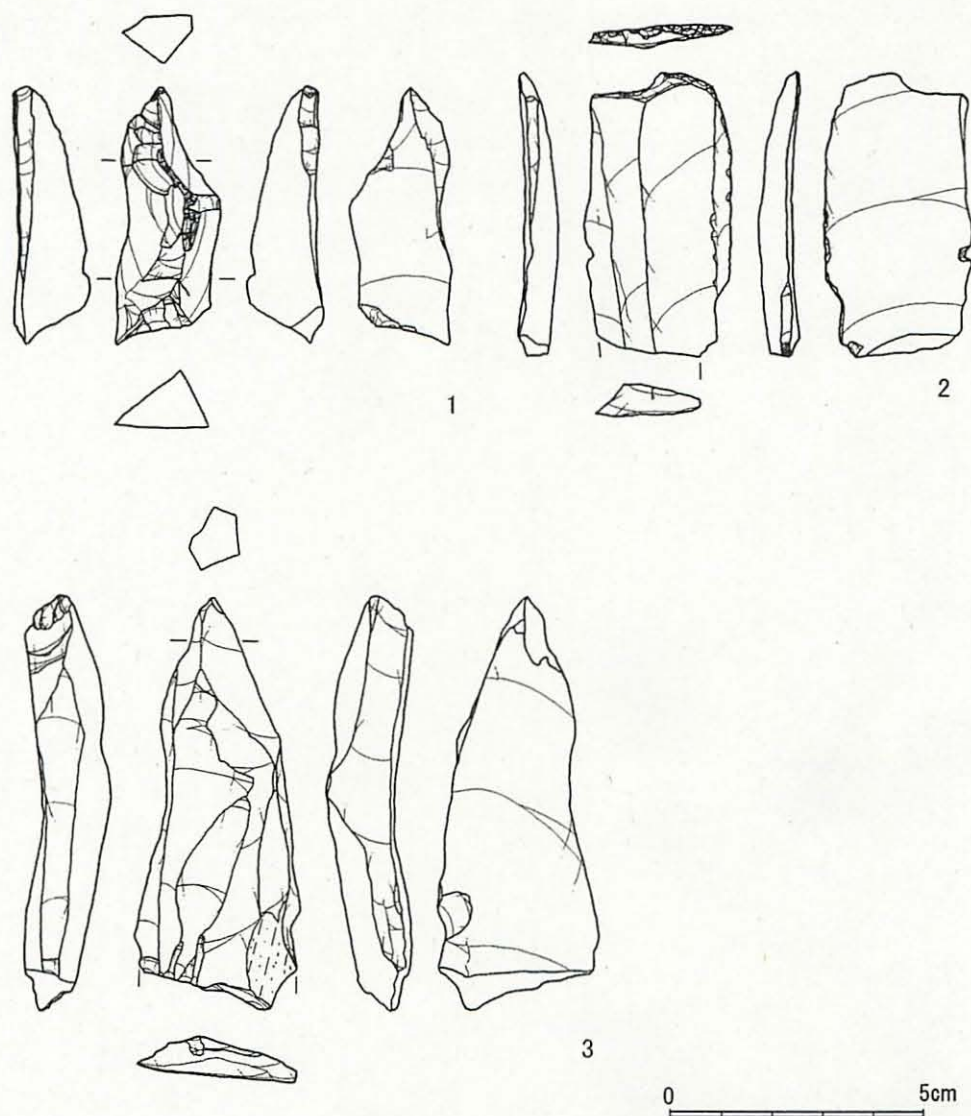


図 15 彫器 (3)

は石刃を素材とし、槌状剥離は素材腹面の左側から右側にかけて横位に施されている。背面の下部には急角度な二次加工が施されており、右側縁の上部には槌状剥離面作出のための打面調整が施されている。図 17 : 8 (STY295) は背面全体が二次加工で覆われているので素材は分からない。槌状剥離は素材腹面の左側から右側にかけて横位に施されている。背面全体に入念な二次加工が施され、腹面の下部にも二次加工が見られる。

彫器削片 (図 18)

彫器削片とした資料は黒曜石製 29 点、チャート製 6 点の計 35 点である。その中で黒曜石製 29 点 (図 18 : 1 ~ 29)、チャート製 4 点 (図 18 : 30 ~ 33) の計 33 点を図示している。断面が著しく一側面に偏った三角形あるいは台形のもの (図 18 : 1 ~ 8, 10 ~ 26, 30 ~ 32)、断面が左右対称に近い三角形を呈するものが見られる (図 18 : 9, 27 ~ 29, 33)。これらの資料は主に側刃形の彫器の製作に関わる彫器削片と思われる。なお、黒曜石製の彫器削片は長さが短く、薄手のものが多い。

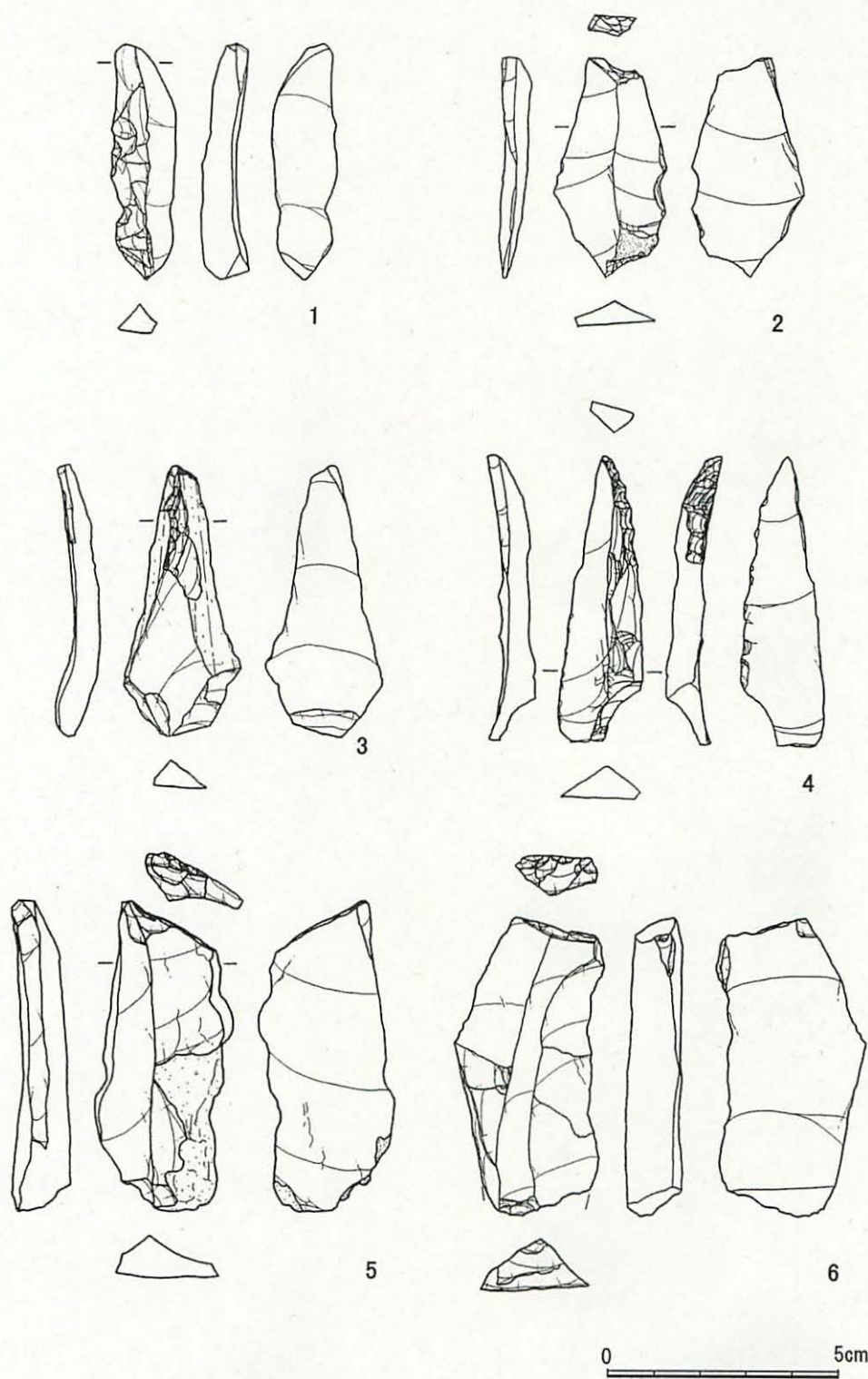


図 16 彫器 (4)

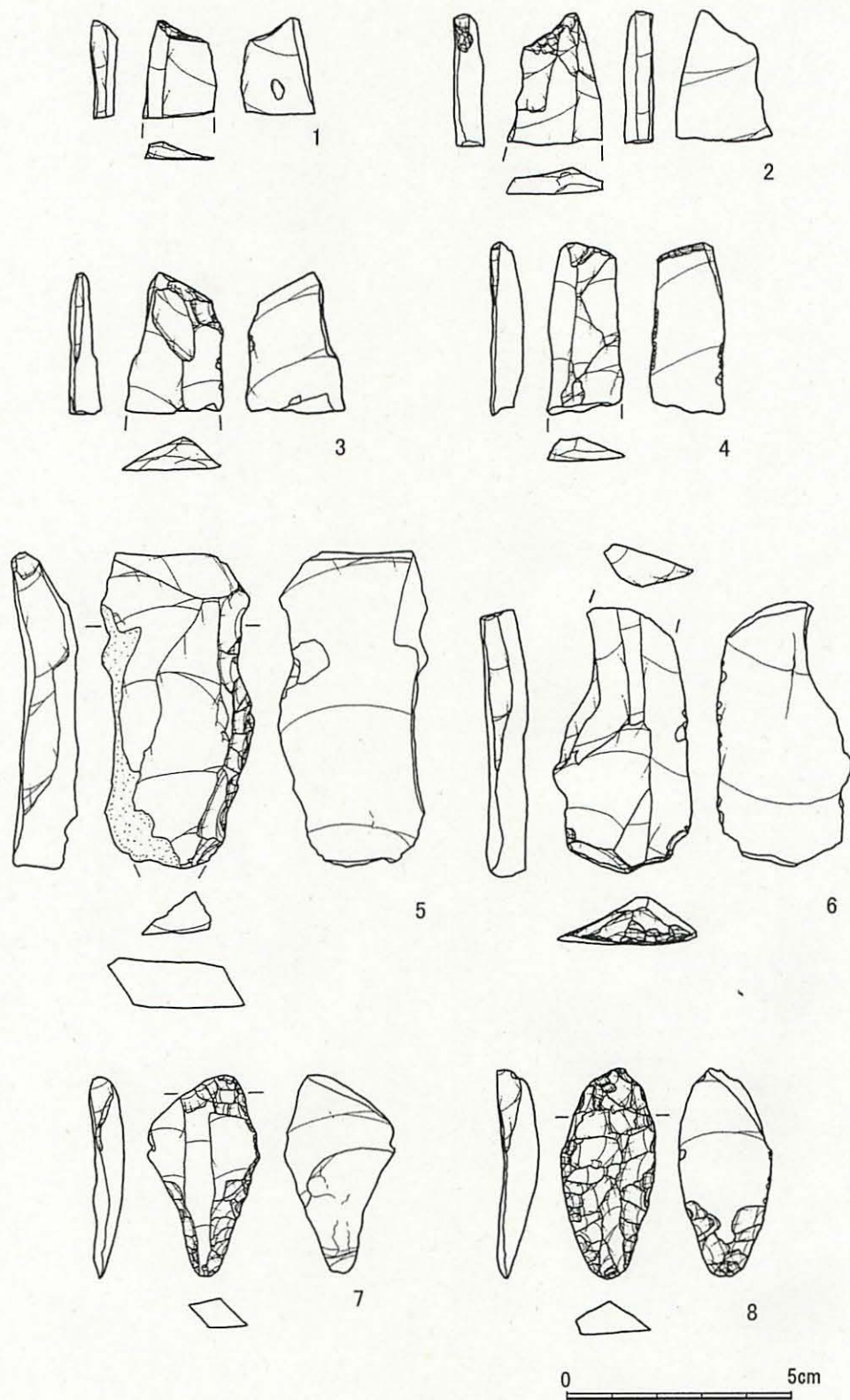


図 17 彫器 (5)

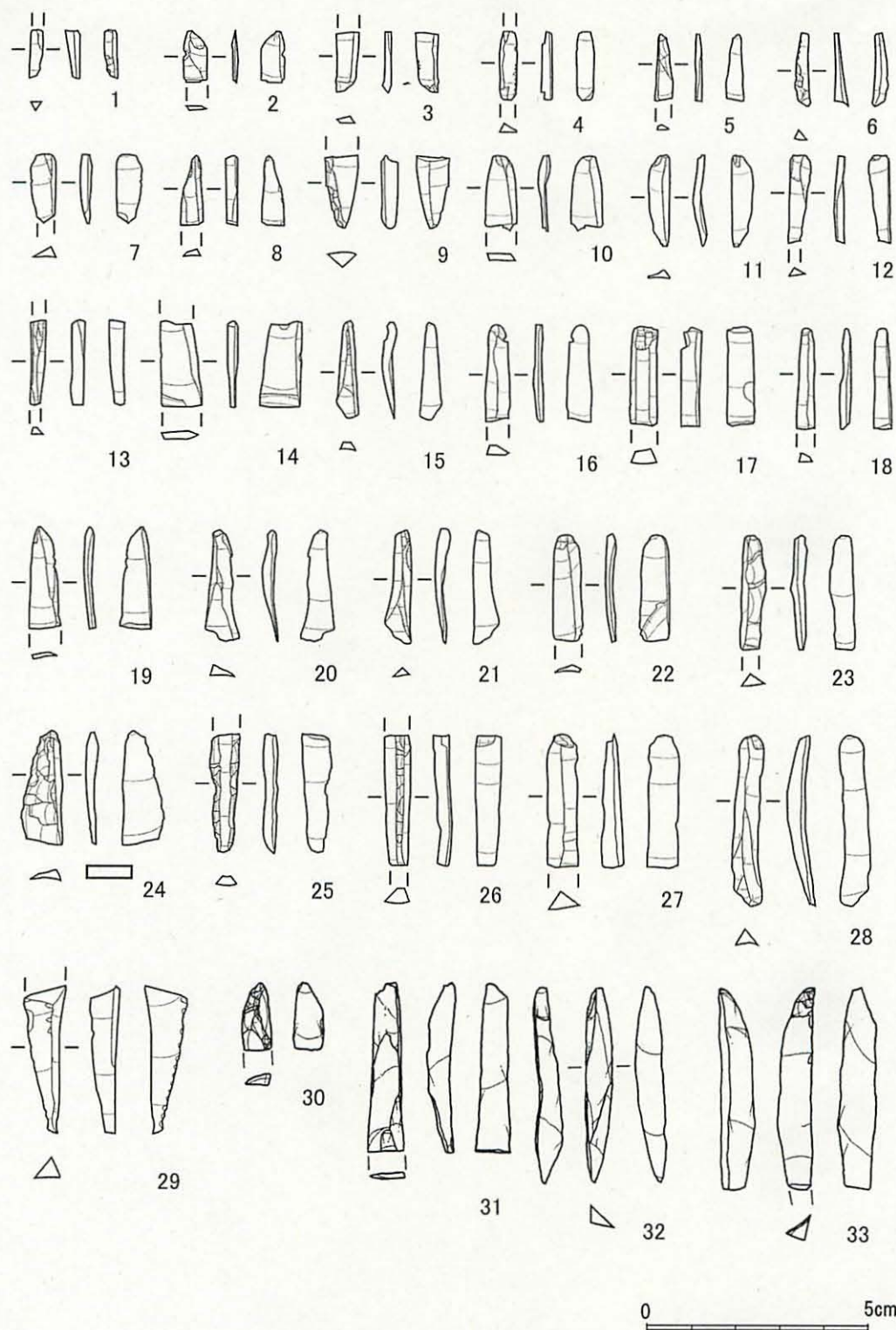


図 18 彫器削片

削器 (図 19)

削器とした資料は黒曜石製 6 点とチャート製 5 点の計 11 点である。その中で黒曜石製 3 点 (図 19 : 1 ~ 3)、チャート製 3 点 (図 19 : 4 ~ 6) を図示した。図 19 : 1 (STY420) は石刃を素材とし、背面の両側縁に細かな二次加工が施されている。腹面にはほとんど二次加工が施されていない。下端部の折れ面は腹面から背面にむかって折れている。図 19 : 2 (STY414) は石刃を素材とし、腹面の両

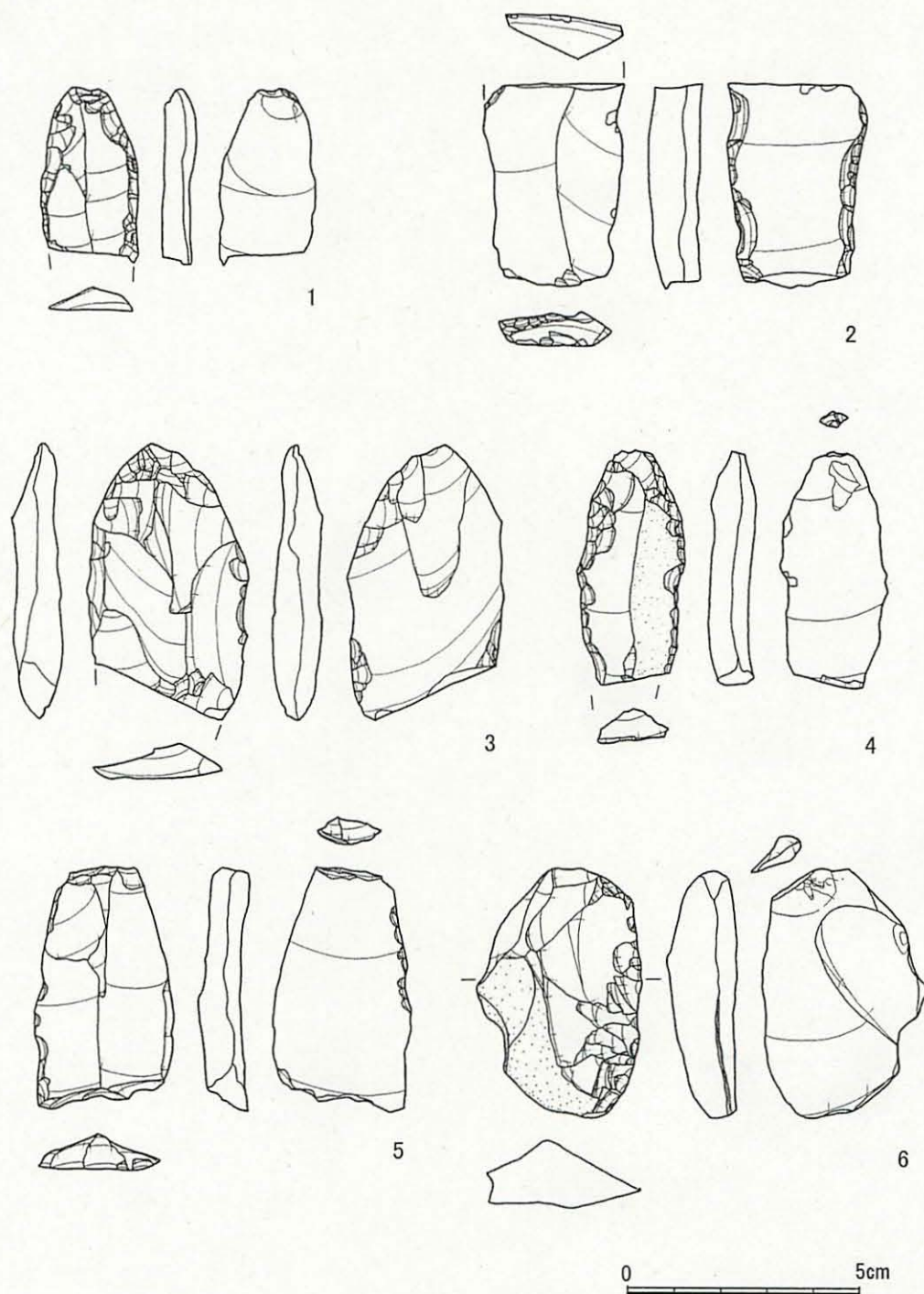


図 19 削器

側縁に二次加工が施されている。上端部・下端部ともに折れており、上端部の折れ面は背面から腹面にむかって折れており、下端部の折れ面は腹面から背面にむかって折れている。図 19 : 3(STY359) は、剥片を素材とし、背面の両側縁と腹面の一部に二次加工が施されている。下端部の折れ面は背面から腹面に向かって折れている。石器全体が被熱によって変色している。図 19 : 4(STY472) は石刃を素材とし、背面の両側縁に細かい二次加工が施されており、一部に自然面を残している。下端部の折れ面は背面から腹面に向かって折れている。図 19 : 5(STY471) は石刃を

素材とし、左側面の背面と腹面の一部に二次加工が施されている。下端部の折れ面に腹面から背面にむかって二次加工が施されている。図 19: 6(STY434) は剥片を素材とし、背面の右側縁側に二次加工が施されており、背面の一部に自然面が残っている。腹面に大きな剥離面が確認できる。

搔器 (図 20、図 21)

搔器とした資料は黒曜石製 3 点とチャート製 12 点の計 15 点である。その中で黒曜石製 2 点 (図 21-1~2)、チャート製 12 点 (図 20: 1~8、図 21: 3~6) の計 14 点を図示した。図 21: 1(STY341) は背面全体に二次加工が施されているので素材は分からない。下端部に急角度の二次加工を施して刃部を作出している。背面の上端が被熱によって変色している。図 21: 2(STY340) は石刃を素材とし、下端部に急角度の二次加工を細かく施して刃部を作出している。両側縁には微細剥離痕が見られる。上端部の折れ面は背面から腹面にむかって折れている。図 20: 1(STY344) は剥片を素材とし、両側縁と下端部に二次加工を施して刃部を作出している。図 20: 2(STY343) は剥片を素材とし、下端部に急角度な二次加工を施して刃部を作出している。図 20: 3(STY345) は剥片を素材とし、下端部に急角度な二次加工を施して刃部を作出している。背面の一部には自然面が残っている。図 20: 4(STY348) は剥片あるいは石刃を素材とし、下端部に急角度の二次加工を施して刃部を作出している。左側面には上端部から下端部に向かって素材をたち切るような剥離が認められる。腹面側に自然面が取り込まれている。図 20: 5(STY347) は剥片を素材とし、下端部に急角度な二次加工を施して刃部を作出している。図 20: 6(STY346) は石刃を素材とし、下端部と上端部に細かい二次加工が施されている。左側面に自然面が残っている。図 20: 7(STY352) は、剥片を素材とし、下端部と両側縁に急角度な二次加工を施して刃部を作出している。背面と主剥離面の剥離方向はほぼ同じ方向にむかって剥離している。図 20: 8(STY474) は石刃を素材とし、下端部に急角度な二次加工を施して刃部を作出している。図 21: 3(STY350) は剥片を素材とし、下端部に二次加工を施して刃部を作出している。上端部の折れ面は腹面から背面にむかって折れている。図 21: 4(STY342) は剥片あるいは石刃を素材とし、下端部の右半分に二次加工を施して刃部を作出している。上端部の折れ面は腹面から背面にむかって折れている。図 21: 5(STY351) は石刃を素材とし、下端部に細かい二次加工を施して刃部を作出している。上端部の折れ面は腹面から背面に向かって折れている。図 21: 6(STY349) は剥片を素材とした搔器の刃部の欠片と考えられ、折れ面は腹面から背面にむかって折れている。

尖頭器 (図 22)

尖頭器とした資料は黒曜石製 3 点とチャート製 2 点の計 5 点である。その中で黒曜石製 3 点 (図 22: 2, 4, 5)、チャート製 2 点 (図 22: 1, 3) すべて図示した。図 22-1(STY427) は全面が平坦な二次加工に覆われ、素材は不明である。下端部には若干の微細剥離が見られる。欠損は認められない。両面にある二次工の剥離面のほとんどは、1 枚ごとが大きく、そして中に入りこんでいる。図 22: 2(STY413) は全面が平坦な二次加工に覆われ、素材は不明である。薄く深い二次加工がほとんどである。細かい調整はほとんどみられない。被熱によって光沢が失われている。図 22: 3(STY426) は両面とも入念な二次加工に覆われ、素材は不明である。木葉形を呈しており、薄く深い二次加工が両面に施されている。裏面の右側縁の一部には微細な剥離がみられる。断面はレンズ状で、最大幅は器体中央部にある。1 ヶ所接合してあるが、過去に接着剤で着けられており、無理に取り外すと破損する恐れがあるので、折れ面は確認できなかった。図 22: 4(STY412) は有茎尖頭器の茎の部分と考えられる。両面とも細かい二次加工が施されており、折れ面は A 面から B 面に向かって

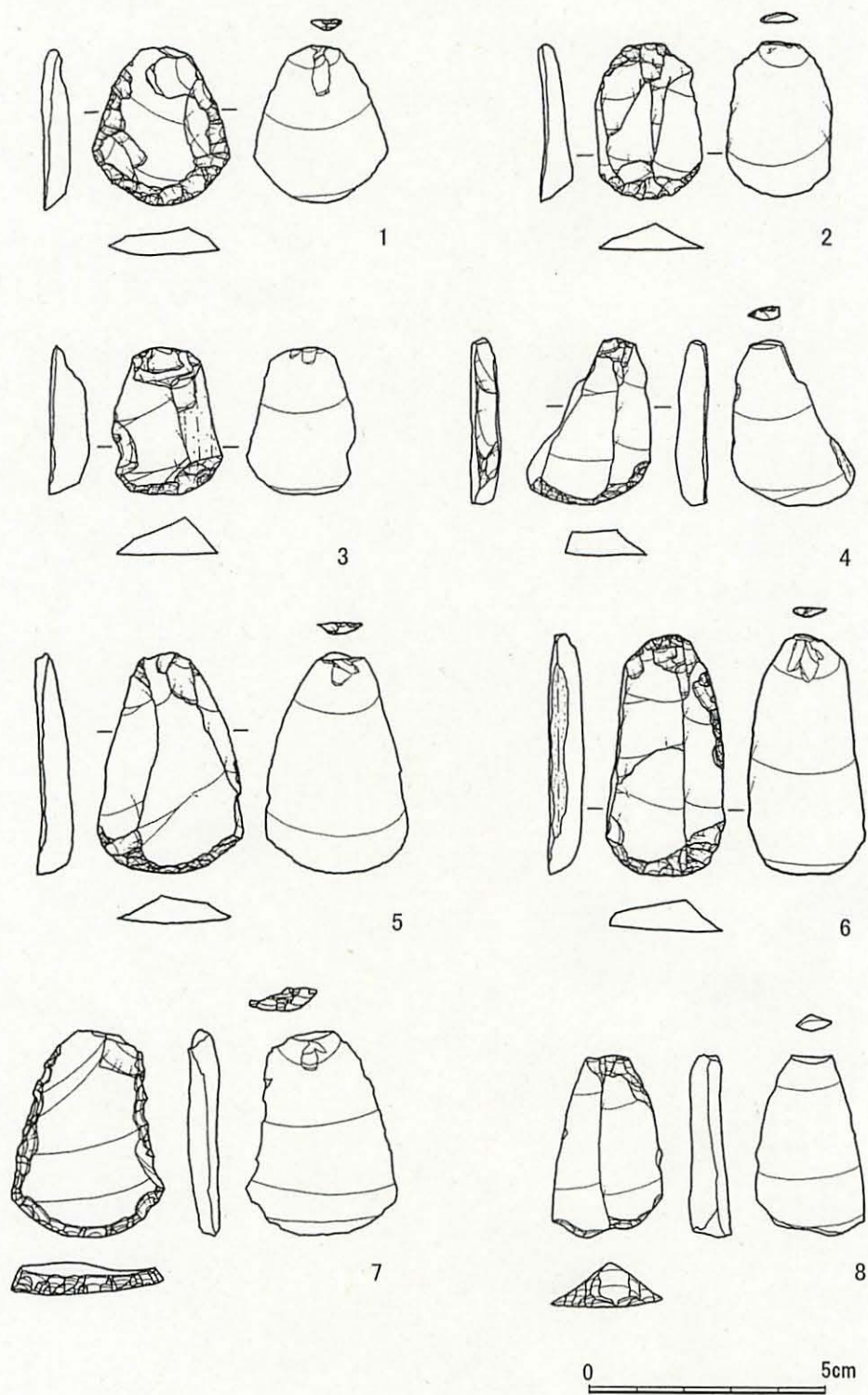


図 20 搔器 (1)

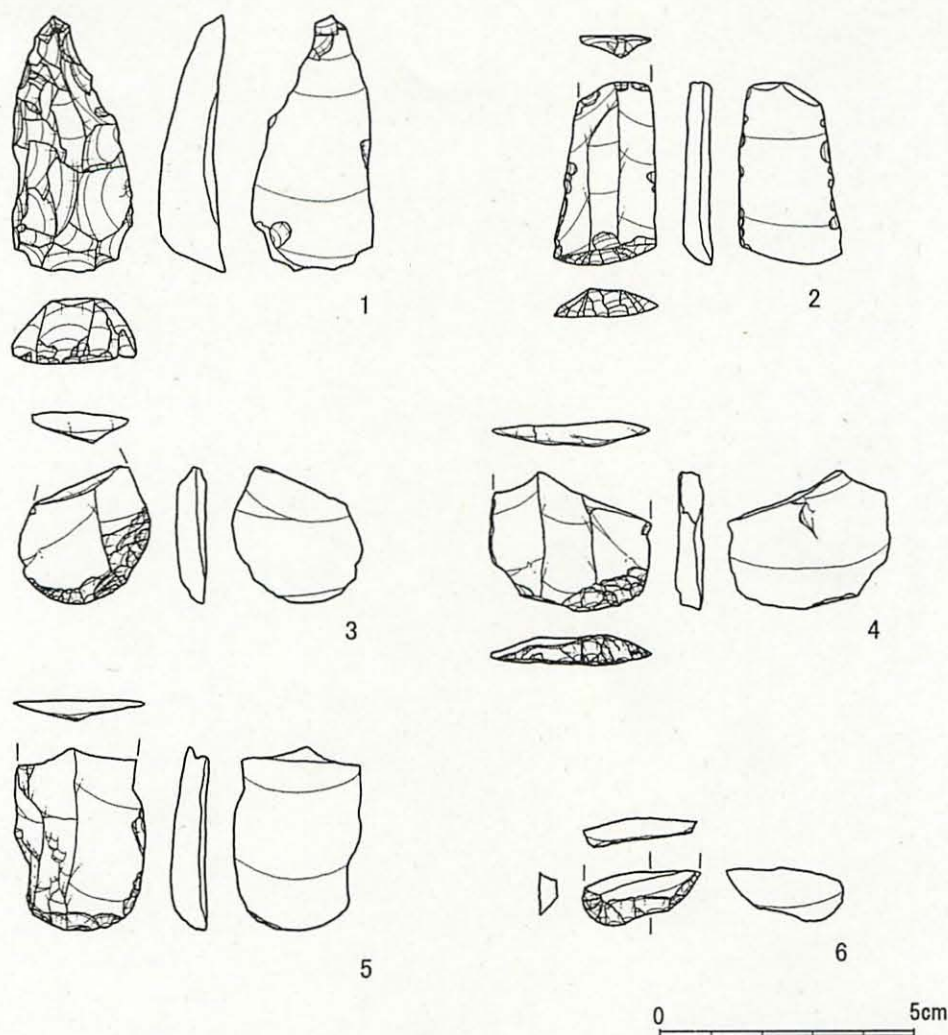


図 21 搔器 (2)

折れている。図 22 : 5 (STY411) も有茎尖頭器の茎の部分と考えられる。A 面には細かい二次加工が施されており、B 面には大きな剥離面が見られる。折れ面は A 面から B 面に向かって折れている。

錐形石器 (図 23)

錐形石器とした資料はチャート製 6 点である。その中で 5 点 (図 23 : 1 ~ 5) を図示した。図 23 : 1 (STY355) は石刃を素材とし、下端部に刃部を作り出している。下端から左右の側縁の一部に細かい加工が施されている。図 23 : 2 (STY357) は剥片を素材とし、素材の打面側と下端部に刃部を作り出している。背面の一部には自然面が残っており、左側縁には細かい剥離が施されている。図 23 : 3 (STY354) は折れた石刃を素材とし、下端部に刃部を作り出している。図 23 : 4 (STY353) は剥片を素材とし、下端部に刃部を作り出している。背面のほとんどに自然面が残っている。図 23 : 5 (STY356) は比較的厚手の石刃または剥片を素材とし、素材の打面側の下端部に刃部を作り出している。背面は上端部・下端部の両側縁に細かい剥離が施されている。

斧形石器 (図 24)

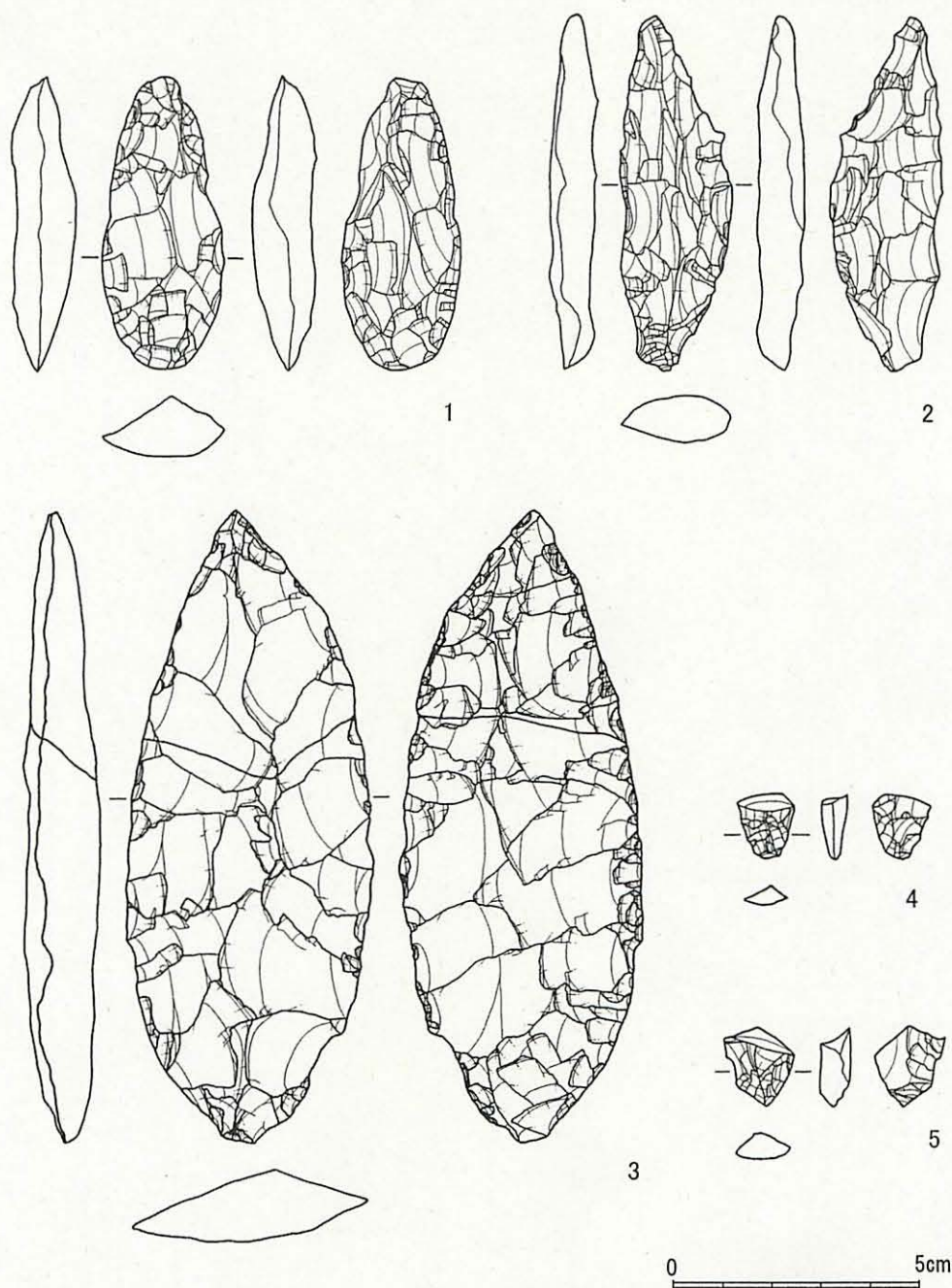


図 22 尖頭器

斧形石器とした資料は砂岩製 4 点である。その中で 3 点 (図 24 : 1 ~ 3) を図示した。これらの資料は風化が激しく剥離面の観察が困難な場合もある。いずれも薄手の剥片を素材とし、縁辺にわずかな二次加工を施している。広郷型細石刃石器群が出土した他の遺跡でも、類似した資料が見られる。例えば、広郷 20 遺跡 (久保他 1981)、中本遺跡 (日本考古学協会 1999 年度釧路大会実行委員会 1999)、元町 2 遺跡 (日本考古学協会 1999 年度釧路大会実行委員会 1999) などが挙げられる。

石核 (図 25)

石核とした資料はチャート製 1 点である。図 25 : 1 (STY440) は正面・裏面の一部に自然面が残っている。正面は上方から石刃剥離が行われており、裏面は上方・下方から石刃剥離が行われている。

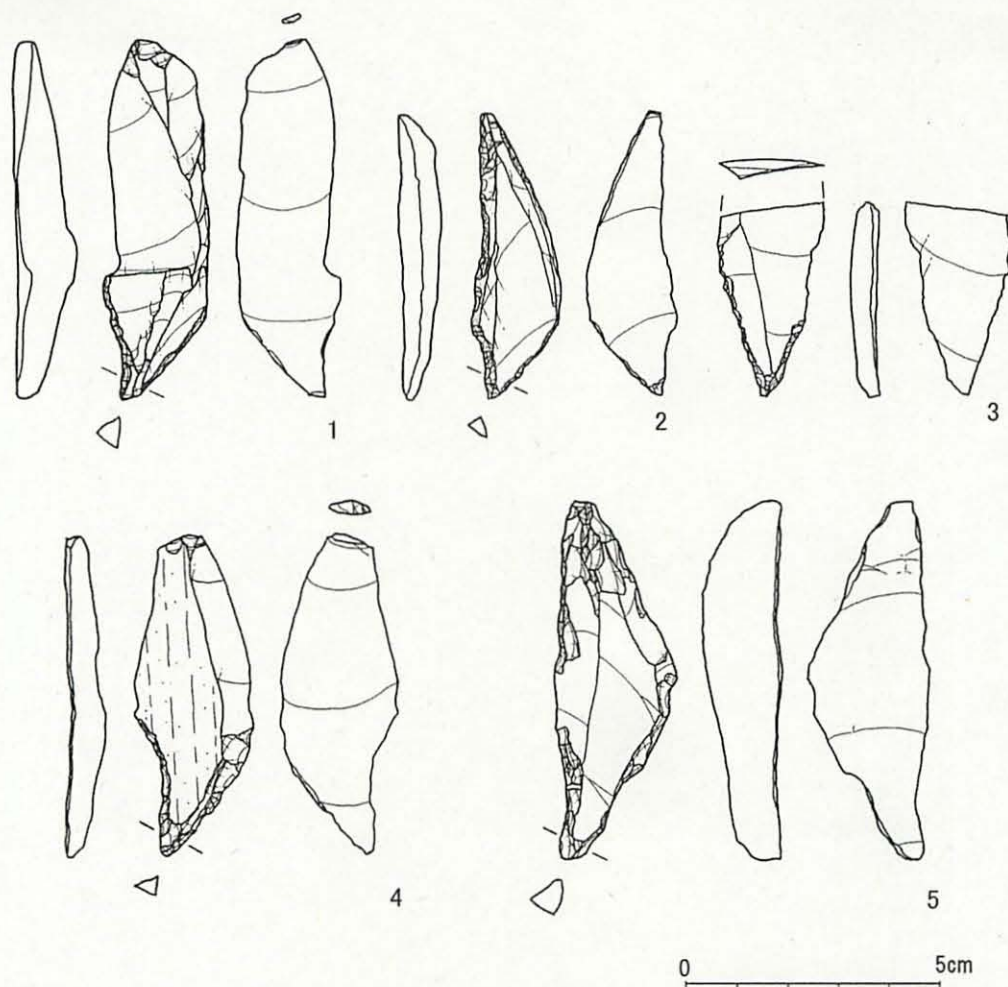


図 23 錐形石器

正面上方や正面右側縁、裏面右側縁には微細な剥離による調整が確認できる。

(2) STS (下川町北町高瀬遺跡下川町委員会整理資料)

削片 (図 26 : 1)

削片とした資料は黒曜石製 2 点である。その中で 1 点 (図 26 : 1) を図示した。図 26 : 1 (STS077) は二次削片である。先行する細石刃剥離面が 8 面みられる。

細石刃核 (図 26 : 2)

細石刃核とした資料は黒曜石製 1 点であり、広郷型細石刃核である。図 26 : 2 (STS090) は比較的薄手の石刃あるいは剥片を素材とし、右側面に細石刃剥離面が 3 面確認できる。上端部以外には二次加工がほとんどみられない。

削器 (図 26 : 3 ~ 4)

削器とした資料は黒曜石製 12 点、チャート製 4 点の計 16 点である。その中で黒曜石製 2 点 (図 26 : 3, 4) を図示した。図 26 : 3 (STS085) は石刃を素材とし、右側縁に細かい二次加工が施されている。図 26 : 4 (STS094) は剥片を素材とし、右側面の一部に細かい二次加工が施されている。

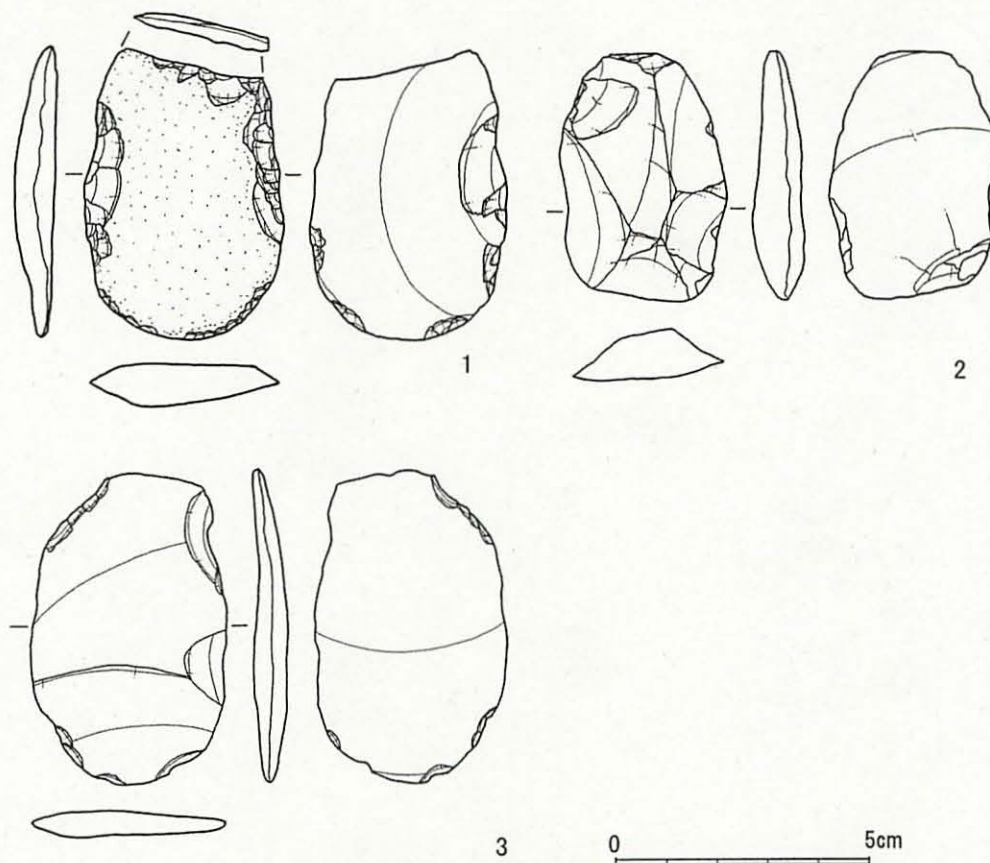


図 24 斧形石器

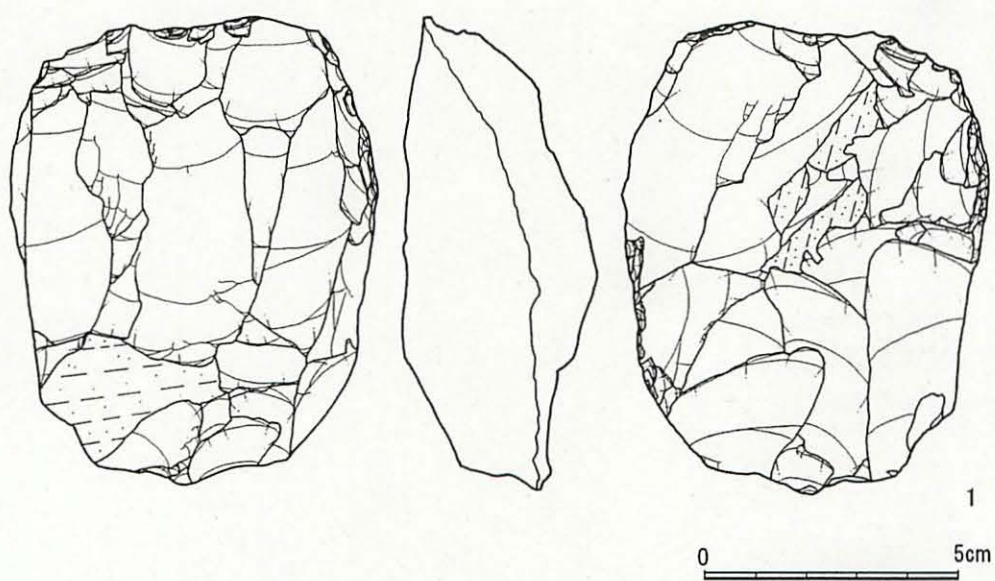


図 25 石核

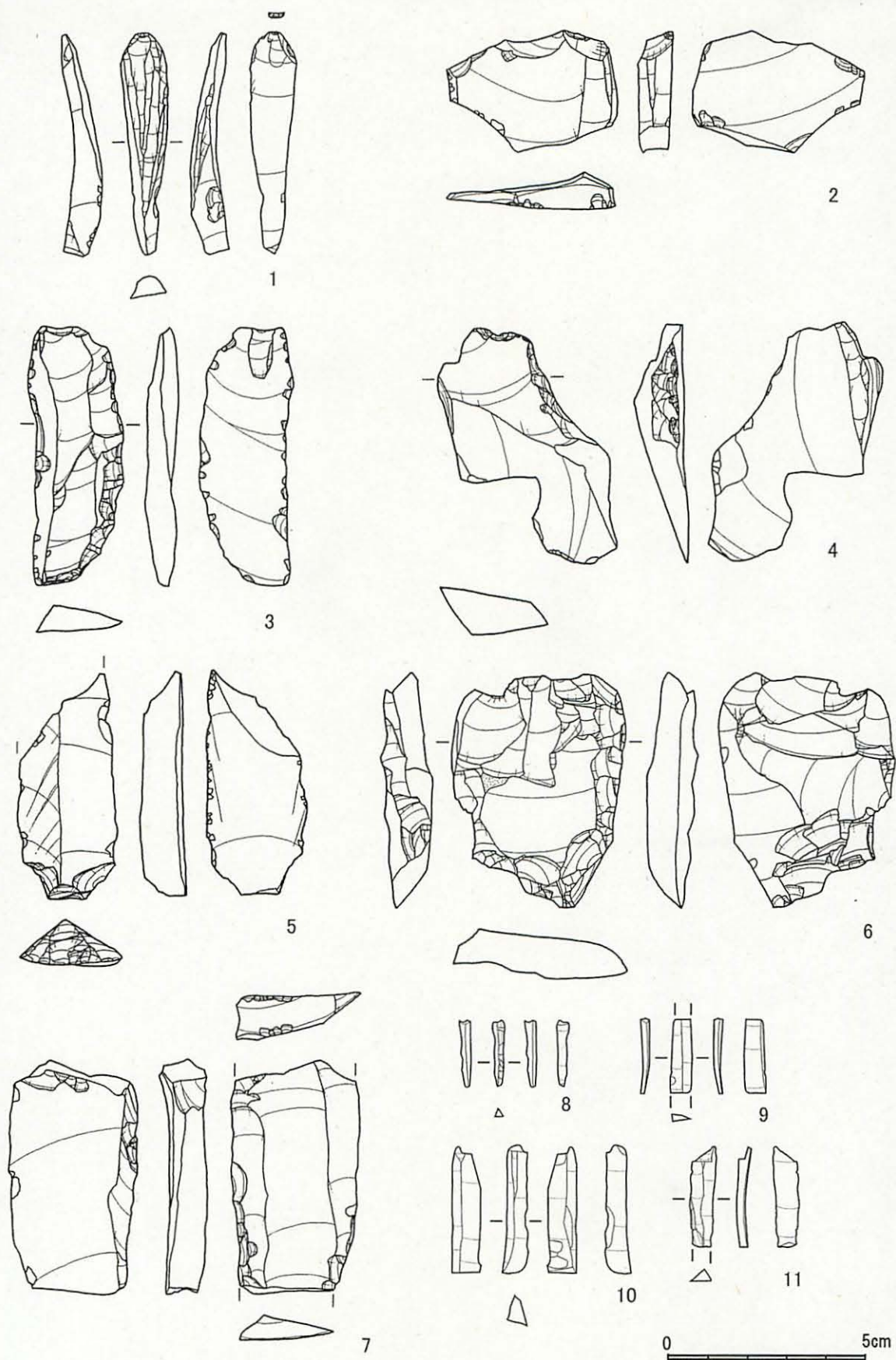


図 26 削片、細石刃核、削器、搔器、楔形石器、彫器、彫器削片

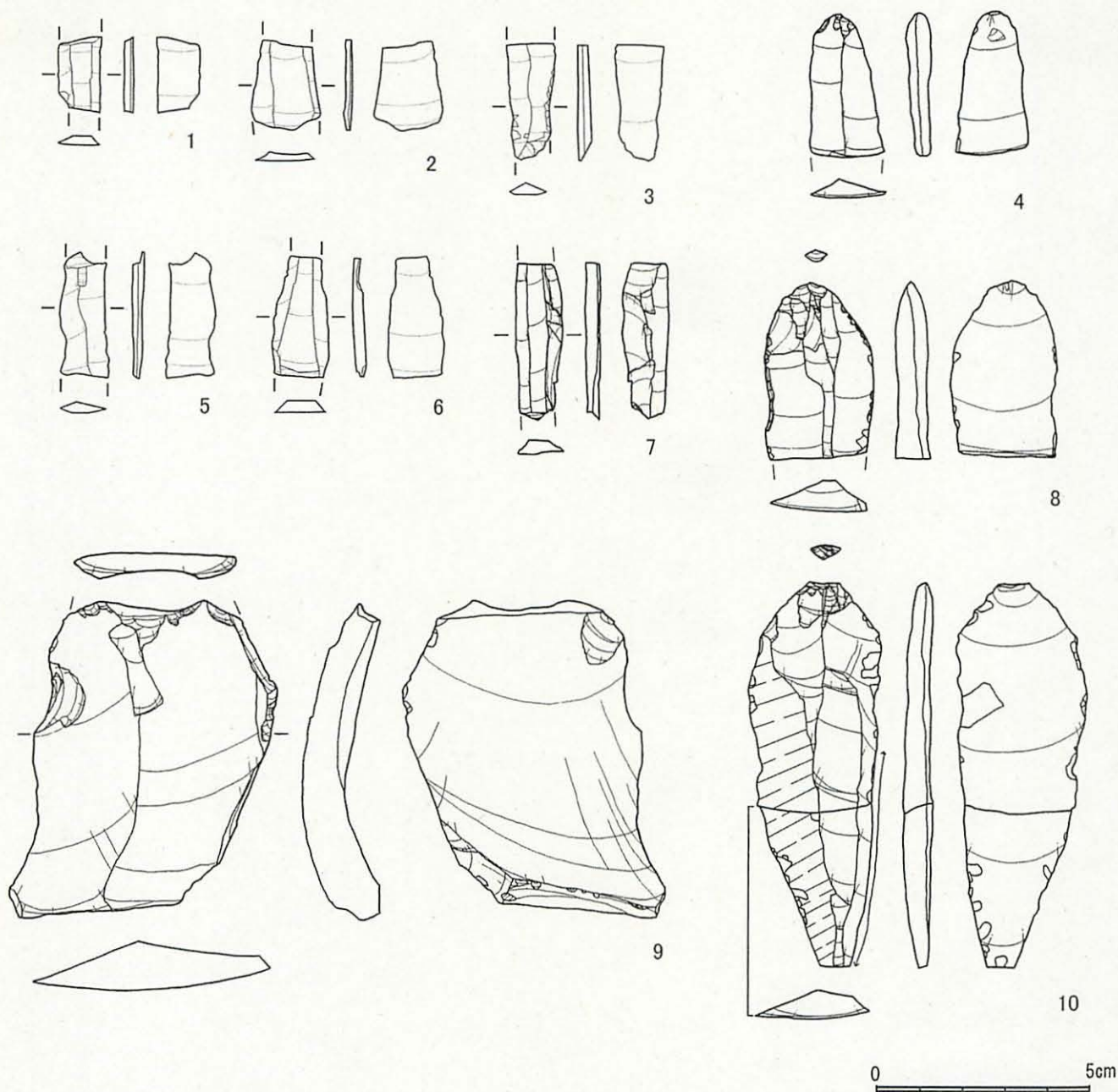


図 27 石刃

搔器 (図 26 : 5)

搔器とした資料は黒曜石製 2 点、チャート製 2 点の計 4 点である。その中で黒曜石製 1 点 (図 26 : 5) を図示した。図 26 : 5 (STS102) は石刃を素材とし、下端部に急角度の二次加工を施して刃部を作出している。

楔形石器 (図 26 : 6)

楔形石器とした資料は黒曜石製 1 点である。図 26 : 6 (STS106) は楔形石器であり、背面に擦痕がみられる。背面の右側縁には細かい二次加工が施されている。左側面には短い槌状剥離がみられる。腹面には両極剥離が見られる。

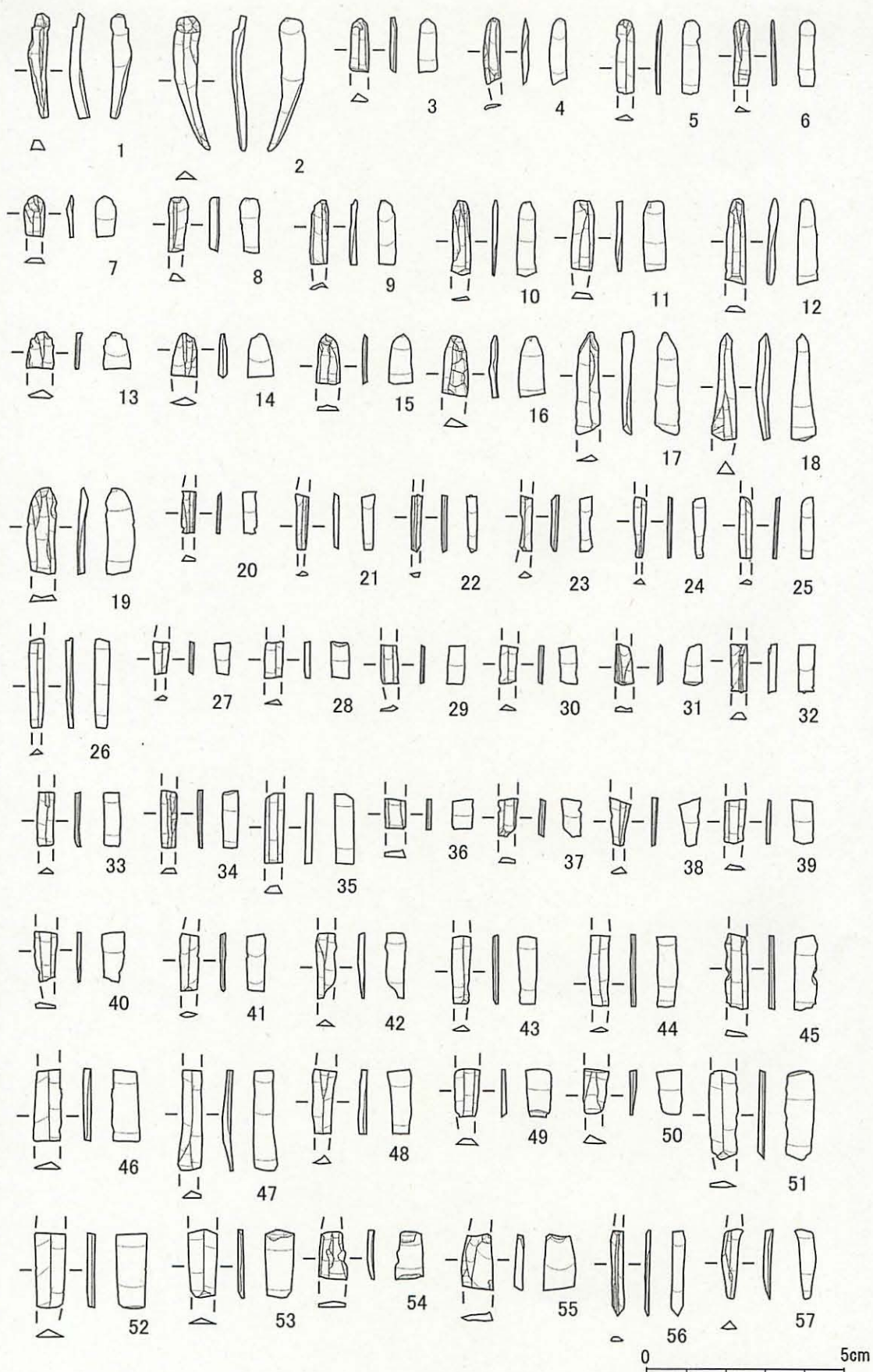


図 28 細石刃

彫器 (図 26 : 7)

彫器とした資料は黒曜石製 1 点、チャート製 6 点の計 7 点ある。その中で黒曜石製 1 点 (図 26 : 7) を図示した。図 26 : 7 は (STS105) は石刃を素材とし、右側縁に細かい二次加工が施され、左側縁には微細剥離痕が見られる。上端部・下端部ともに折れている。腹面には浅い樋状剥離がみられる。

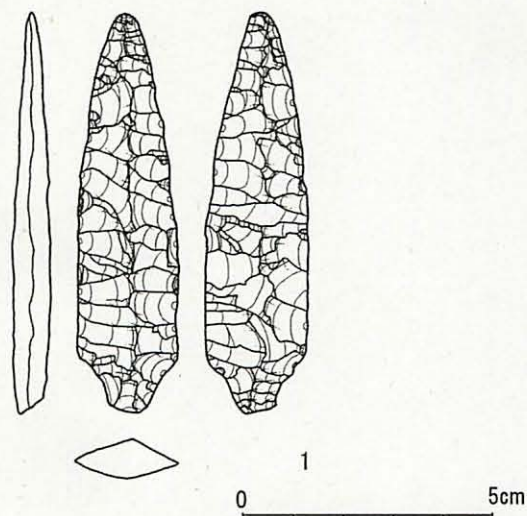


図 29 有茎尖頭器

彫器削片 (図 26 : 8 ~ 11)

彫器削片とした資料は黒曜石製 4 点、チャート製 2 点の計 6 点である。その中で黒曜石製 4 点 (図 26 : 8 ~ 11) を図示した。図 26 : 8 (STS057) は一次削片であり、断面が左右対称に近い三角形を呈しており、背面には細かい調整もみられる。図 26 : 9 ~ 11 は二次削片であり、断面が著しく一側面に偏った三角形あるいは台形を呈している。これらの資料は主に側刃形の彫器の製作に関わる彫器削片と思われる。

石刃 (図 27 : 1 ~ 10)

石刃とした資料は黒曜石製 29 点、チャート製 35 点の計 64 点である。その中で黒曜石製 11 点 (10 個体) を図示した。図 27 : 1 ~ 7 は比較的薄手で小型の石刃である。図 28 : 4 以外はすべて上端部・下端部が折れている資料である。図 27 : 8 (STS100) は石刃の上端部であり、頭部調整がみられる。図 27 : 9 (STS110) は背面に擦痕がみられる。上端部・下端部ともに折れている。図 27 : 10 (STS098 + 108) は接合資料であり、背面には自然面が残っている。細かい打面調整が施されており、右側縁には微細剥離痕が見える。

細石刃 (図 28 : 1 ~ 57)

細石刃とした資料は黒曜石製 57 点とチャート 3 点の計 60 点である。その中で黒曜石製 57 点 (図 28 : 1 ~ 57) を図示した。図 28 : 1 ~ 2 は完形あるいは完形に近い資料である。最大幅は図 28 : 1 が 4mm、図 28 : 2 が 7mm である。図 28 : 3 ~ 19 は細石刃の打点側とした資料である。最大幅は図 28 : 3 ~ 6 が 4mm、図 28 : 7 ~ 10 が 5mm、図 28 : 11 ~ 17 が 6mm、図 28 : 18 ~ 19 は 7mm である。図 28 : 20 ~ 55 は細石刃の中間部とした資料である。最大幅は図 28 : 20 ~ 26 が 3mm、図 28 : 27 ~ 35 が 4mm、図 28 : 36 ~ 44 が 5mm、図 28 : 45 ~ 50 が 6mm、図 28 : 51 ~ 54 が 7mm、図 28 : 55 が 8mm である。図 28 : 56 ~ 57 は細石刃の下端部とした資料である。最大幅は図 28 : 56 が 3mm、図 28 : 57 が 5mm である。

(3) 表採資料 1 (STY 調査地点付近で出穂雅実が採集した資料)

有茎尖頭器 (図 29)

有茎尖頭器とした資料は黒曜石製 1 点である。図 29 : 1 (表採 1-1) は両面とも入念な二次加工に覆われ、素材は不明である。A 面の茎部分には下端部から上端部に向かって縦溝状剥離痕がみられる。

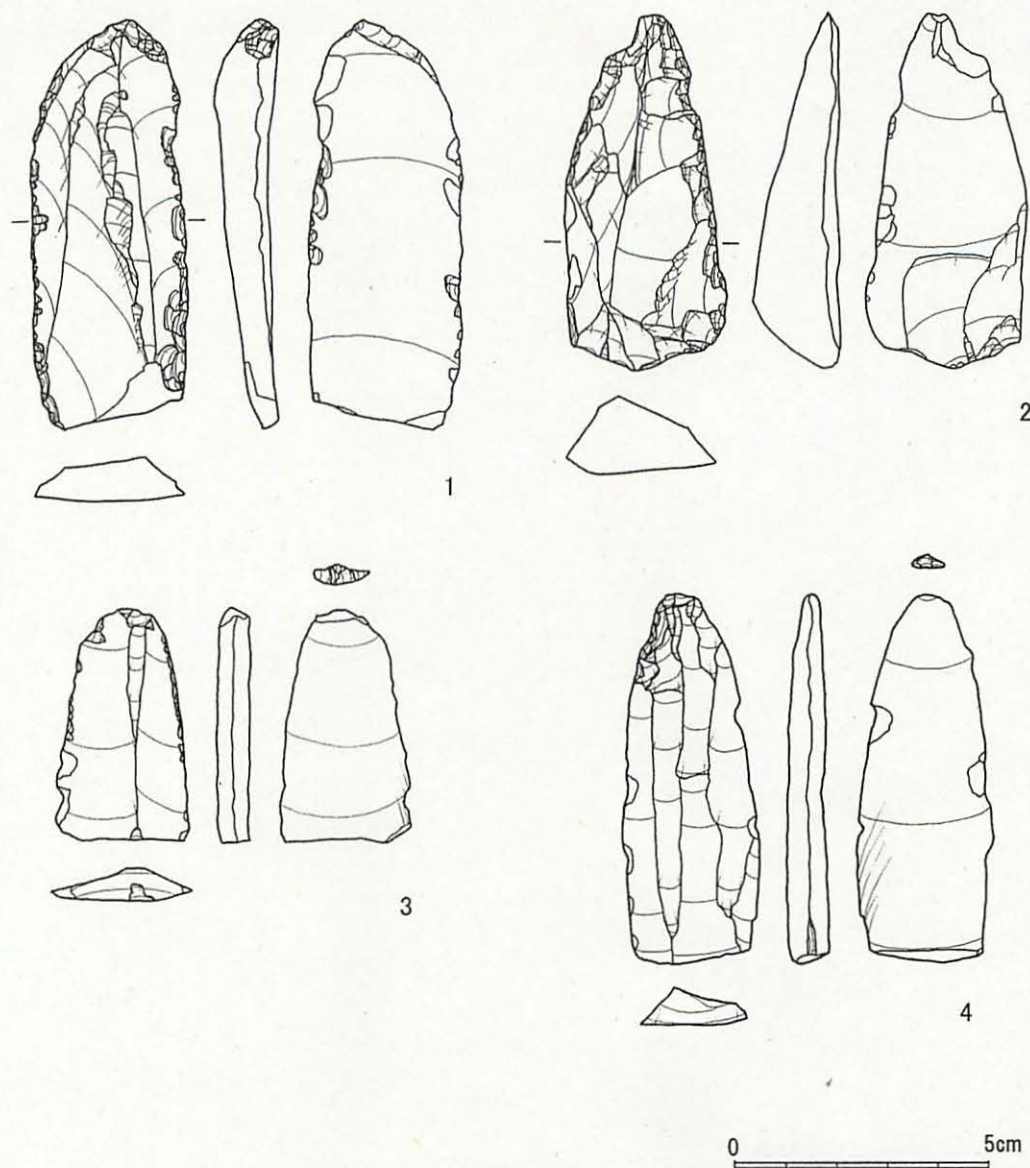


図30 彫器、搔器、石刃

(4) 表採資料2 (中内伊勢吉氏によって高瀬遺跡から採集された資料)

本資料のうち図30:3～4、図32:2以外は1985年に報告されている資料(大沼1985)であるが、改めて図化して再検討を行う。

彫器 (図30:1)

彫器とした資料は黒曜石製2点、チャート製1点の計3点である。その中で黒曜石製1点(図30:1)を図示した。図30:1(表採2-4)は石刃を素材とし、槌状剥離は素材腹面の左側から右側にかけて横位に施されている。また左右側縁には細かい二次加工が施されている。

搔器 (図30:2)

搔器とした資料は黒曜石製4点、硬質頁岩製3点、硬質頁岩2点の計9点である。その中で黒曜石製1点(図30:2)を図示した。図30:2(表採2-9)は石刃あるいは剥片を素材とし、背面の左右

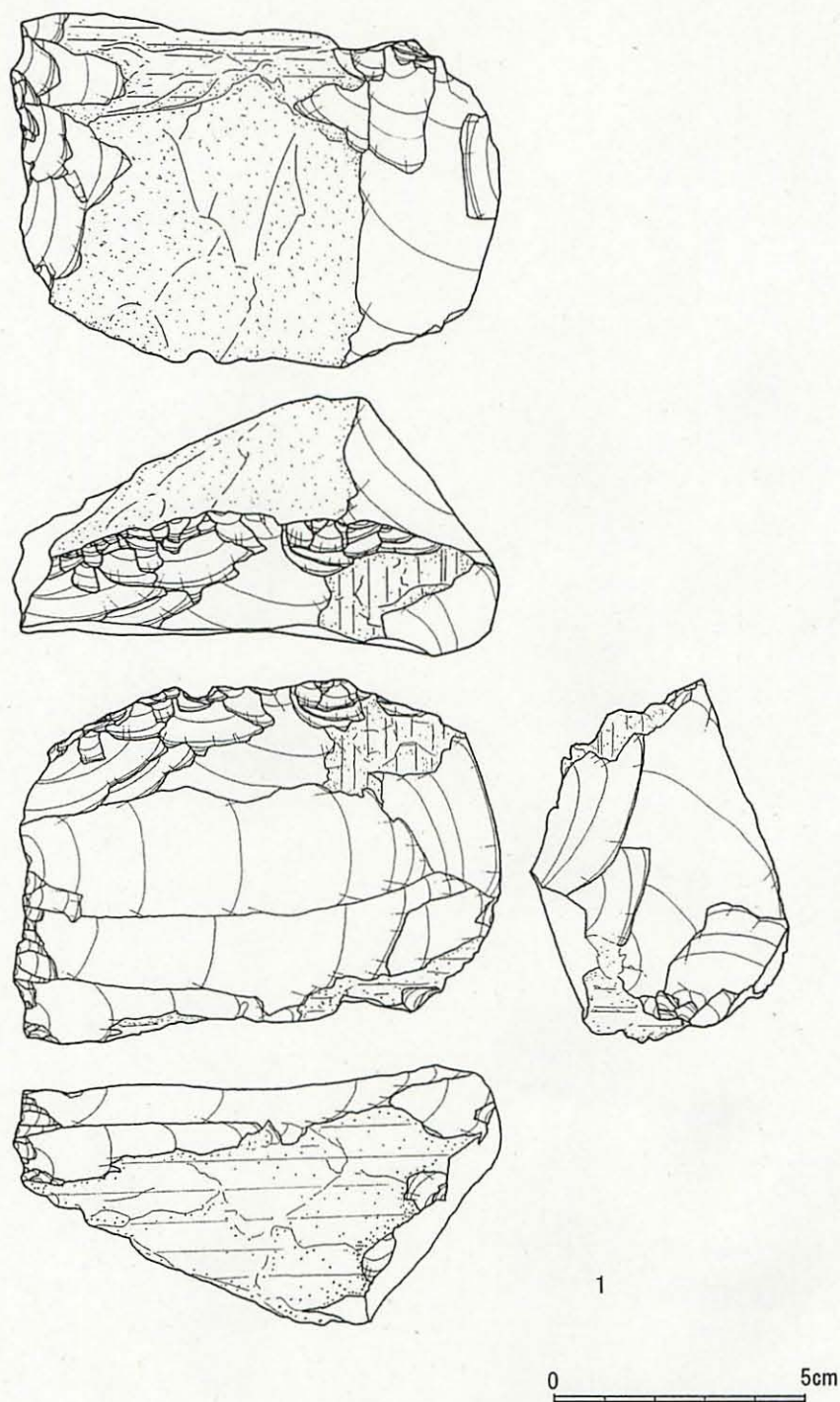


図31 石核

側縁には細かい二次加工がみられる。下端部に急角度の二次加工を施して刃部を作出している。

石刃 (図 30 : 3, 4)

石刃とした資料は黒曜石製 4 点、チャート製 1 点の計 5 点である。その中で黒曜石製 2 点 (図 30 : 3, 4) を図示した。図 30 : 3 (表採 2-17) は黒曜石製の石刃である。細かい打面調整が施されている。背面の 3 面と主剥離面の剥離方向はすべて同一である。図 30 : 4 (表採 2-15) は黒曜石製の石刃である。

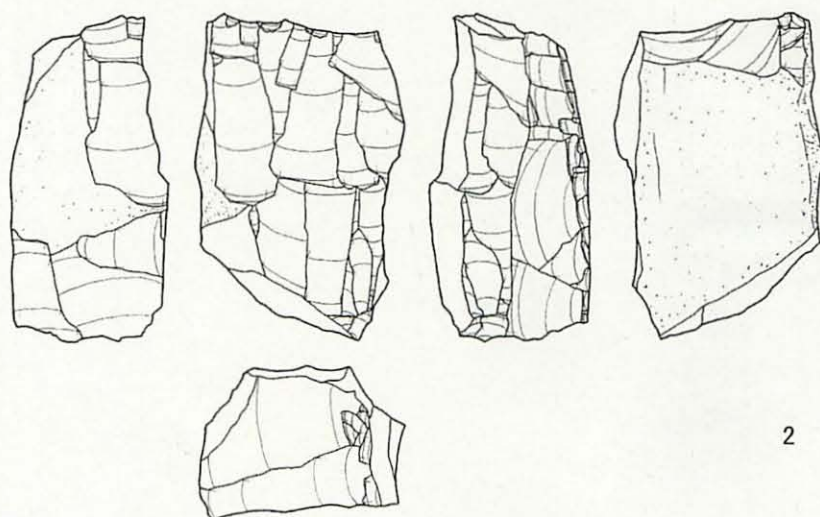
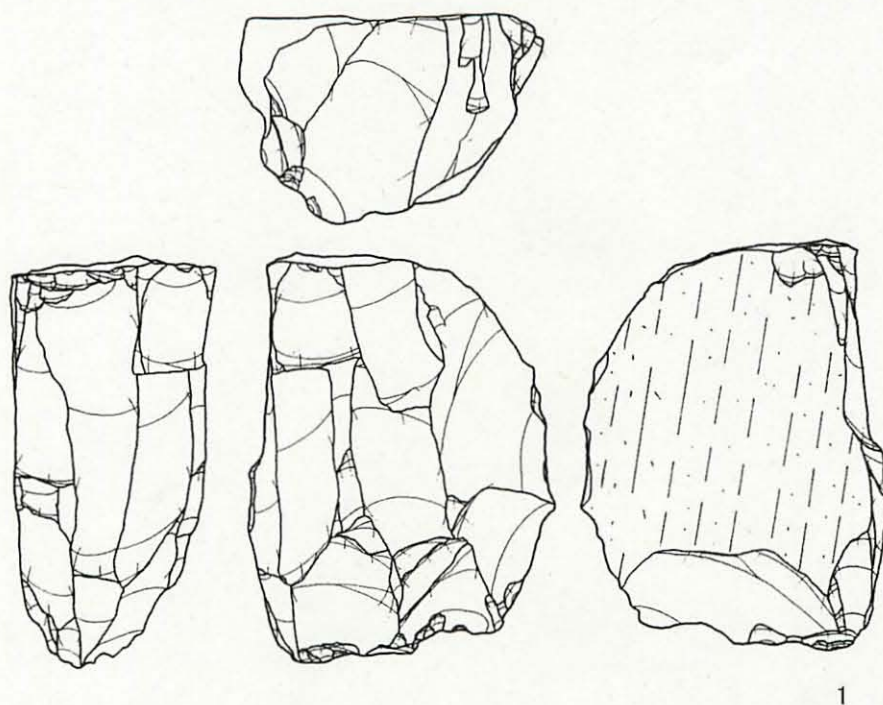


図 32 石核

頭部調整の後に入念な潰しを行っている。

石核 (図 31、図 32)

石核とした資料は黒曜石製 2 点、チャート製 3 点の計 5 点である。その中でチャート製 3 点 (図 31 : 1、図 32 : 1, 2) を図示した。図 31 : 1 (表採 2-1) は各面に自然面が残っている。正面には石刃剥離が行われており、左側面には細かい調整がみられる。図 32 : 1 (表採 2-2) は裏面に自然面が残されており、左側面では上方から下方に石刃剥離が行われ、一部には調整が施されている。正面では下方から上方に石刃剥離が行われている。図 32 : 2 (表採 2-20) は左側面と裏面に自然面が残されている。正面では石刃剥離が行われ、右側面では右側から左側への剥離面がみられる。

4. おわりに

本稿では 1963 年の高瀬遺跡の発掘資料と帰属の異なる 3 つの表採資料を再整理し、資料の全体の概要を示した。資料の出土状況に関しては上記で述べたように STY の遺物の取り上げについては、遺跡の断面図や平面図が確認できないため、今回は石器集中レベルでの議論ができない状況である。

利用されている石器石材は黒曜石、チャート、硬質頁岩、砂岩であり、黒曜石とチャートの占める割合が高い。高瀬遺跡から出土したチャート製の石器は下川町にあるチャートの原産地から持ち込まれたと考えられる。

高瀬遺跡から出土している広郷型細石刃核は完形の資料が少なく、折損しているものや被熱がみられるものが目立つ。今回の再整理によって高瀬遺跡の資料は、広郷型細石刃核を伴う石器群によって構成されていることを確認することができた。高瀬遺跡の石器群の器種組成はある程度まとまっており、広郷型細石刃核を伴う石器群が出土している他の遺跡と対比が可能である。例えば、広郷遺跡 (大場・大谷 1959)、広郷 20 遺跡 (久保他 1981)、中本遺跡 (日本考古学協会 1999 年度釧路大会実行委員会 1999) 元町 2 遺跡 (日本考古学協会 1999 年度釧路大会実行委員会 1999) などがある。

謝辞

本稿で扱った高瀬遺跡の資料分析の際には、下川町教育委員会の今井真司氏に多くの便宜を図っていただいた。岩瀬彬氏、亀井翼氏から草稿に対して貴重なご意見をいただいた。記して深く感謝申し上げます。

註

- (1) 高瀬遺跡の座標データは筆者のうち濱口が現地に行き、ハンディ GPS で測ったデータを使用している。
- (2) 2000 年に穂が山崎氏から直接伺った情報である。

引用参考文献

- 大沼忠春 1985 『北町地区の遺跡』下川町教育委員会
大場利夫・大谷良夫 1959 『北見市上常呂遺跡』北見市教育委員会
尾田識好 2009 「北見市紅葉山遺跡出土石器群の再整理・再検討」佐藤宏之編『日本列島北部の更新世 / 完新世移行期における居住形態と文化形成に関する研究』東京大学常呂実習施設研究報告 6、139-221 頁
久保勝範・大田敏量・菅野友世 1981 『北見市広郷・開成遺跡発掘調査報告書』北見市
佐藤忠雄 1961 『射的山』永山町

- 佐藤宏之 2002 「V-2 環日本海における広郷型細石刃核の分布」『内蒙古細石器文化の研究』160-168 頁
- 佐藤宏之 2005 「北海道旧石器文化を俯瞰する—北海道とその周辺—」『北海道旧石器文化研究』10、137-146 頁
- 下川町教育委員会 1993 『下川町の文化財』下川町
- 鶴丸俊明 1979 「北海道地方の細石刃文化」『駿台史学』47、23-50 頁
- 鶴丸俊明 1985 「広郷型細石刃核論—その形質と意味—」『論集日本原史』113-138 頁、吉川弘文館
- 鶴丸俊明・出穂雅実・高倉純 2000 「大韓民国・上舞龍里Ⅱ遺跡の細石刃石器群—石器群の位置づけと関連する問題について—」『北海道考古学』36、97-103 頁
- 戸沢充則 1967 「北海道置戸安住遺跡の調査とその石器群」『考古学集刊』3(3)、1-44 頁
- 中沢祐一 1998 「黒曜石の被熱」『北海道旧石器文化研究』3、1-12 頁
- 日本考古学協会 1999 年度釧路大会実行委員会 1999 『シンポジウム 海峡と北の考古学—文化の接点を探る—資料集Ⅰ・テーマ：旧石器から縄文へ』
- 山崎博信 1979 『モサナル遺跡（付北町タカセ地点）』下川町教育委員会
- ワシリエフスキー, A. A. (木村英明訳) 2006 「サハリンと日本の旧石器文化」『考古学ジャーナル』540
- Sato, H. 2004 Lithic procurement and reduction strategy of Hirosato industry in the Japan Sea rim area. *Seonsa wa Kodae*, 20, pp. 205-221.

表1 高瀬遺跡資料一覧(1) ※最大長、最大幅、最大厚の単位は(mm)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
3-1	STY264	広郷型細石刃核	黒曜石	49	39	8.8	13.5	
3-2	STY270	広郷型細石刃核	黒曜石	58	27	8.8	13.6	
3-3	STY263	広郷型細石刃核	黒曜石	56	35	14.0	29.6	
3-4	STY265	広郷型細石刃核	黒曜石	35	13	6.4	2.6	
3-5	STY268	広郷型細石刃核	黒曜石	56	30	10.8	22.6	
3-6	STY267	広郷型細石刃核	黒曜石	42	25	12.0	11.4	
3-7	STY269	広郷型細石刃核	黒曜石	20	10	8.6	2.6	
3-8	STY266	広郷型細石刃核	黒曜石	22	22	10.9	5.1	
4-1	STY314	打面形成削片	黒曜石	36	12	7.6	1.5	
4-2	STY312	打面形成削片	黒曜石	49	13	8.0	2.3	
4-3	STY315	削片	黒曜石	35	9	8.0	4.2	
4-4	STY370	削片	黒曜石	32	10	4.8	1.1	
4-5	STY297	削片	黒曜石	41	4	3.7	0.6	
4-6	STY306	削片	黒曜石	44	6	5.6	1.3	
4-7	STY311	削片	黒曜石	48	8	6.5	2.6	
4-8	STY302	削片	黒曜石	43	5	5.3	1.0	
4-9	STY305	削片	黒曜石	69	11	10.7	7.1	
4-10	STY318	削片	黒曜石	41	9	7.3	2.2	320と接合
4-10	STY320	削片	黒曜石	26	8	6.9	1.7	318と接合
4-11	STY310	削片	黒曜石	47	8	6.2	1.7	
	STY298	削片	黒曜石	36	9	4.3	1.4	
	STY299	削片	黒曜石	38	10	7.1	2.5	317と接合
	STY300	削片	黒曜石	34	6	4.9	0.4	
	STY301	削片	黒曜石	24	3	2.1	0.2	
	STY303	削片	黒曜石	24	6	2.3	0.4	
	STY304	削片	黒曜石	35	9	9.0	2.9	
	STY308	削片	黒曜石	30	13	5.7	2.6	
	STY309	削片	黒曜石	44	8	3.7	1.1	
	STY313	削片	黒曜石	26	4	2.4	0.3	
	STY316	削片	黒曜石	18	3	2.6	0.2	
	STY317	削片	黒曜石	26	9	3.8	1.3	299と接合
	STY319	削片	黒曜石	25	6	2.2	0.4	
	STY333	削片	黒曜石	29	12	6.8	1.3	
	STY358	削片	黒曜石	26	9	2.7	0.6	
	STY385	削片	黒曜石	21	10	2.6	0.5	
5-1	STY194	細石刃	黒曜石	18	3	1.0	<0.1	
5-2	STY203	細石刃	黒曜石	18	3	1.3	0.1	
5-3	STY233	細石刃	黒曜石	21	3	1.0	0.1	
5-4	STY062	細石刃	黒曜石	30	5	2.2	0.4	
5-5	STY249	細石刃	黒曜石	29	4	2.9	0.3	
5-6	STY254	細石刃	黒曜石	36	5	2.4	0.4	
5-7	STY001	細石刃	黒曜石	12	3	0.9	<0.1	
5-8	STY004	細石刃	黒曜石	15	3	1.2	<0.1	
5-9	STY075	細石刃	黒曜石	18	3	1.5	0.1	
5-10	STY115	細石刃	黒曜石	15	3	0.8	0.1	
5-11	STY247	細石刃	黒曜石	13	4	1.3	0.1	
5-12	STY110	細石刃	黒曜石	15	4	1.4	0.1	
5-13	STY067	細石刃	黒曜石	16	4	2.0	0.2	
5-14	STY079	細石刃	黒曜石	15	4	1.5	0.1	
5-15	STY094	細石刃	黒曜石	16	4	1.4	0.1	
5-16	STY082	細石刃	黒曜石	17	4	1.1	0.1	
5-17	STY238	細石刃	黒曜石	16	4	1.4	0.1	
5-18	STY244	細石刃	黒曜石	17	4	1.1	0.1	
5-19	STY103	細石刃	黒曜石	20	4	1.4	0.1	
5-20	STY108	細石刃	黒曜石	19	4	1.8	0.2	
5-21	STY084	細石刃	黒曜石	22	4	1.8	0.2	
5-22	STY073	細石刃	黒曜石	24	4	1.7	0.2	
5-23	STY201	細石刃	黒曜石	26	4	1.6	0.2	
5-24	STY141	細石刃	黒曜石	28	4	1.3	0.2	
5-25	STY089	細石刃	黒曜石	33	4	2.0	0.3	
5-26	STY256	細石刃	黒曜石	31	4	2.5	0.2	
5-27	STY107	細石刃	黒曜石	12	5	1.7	0.1	
5-28	STY087	細石刃	黒曜石	13	5	1.2	0.1	
5-29	STY080	細石刃	黒曜石	15	5	1.2	0.1	
5-30	STY081	細石刃	黒曜石	16	5	1.3	0.1	
5-31	STY199	細石刃	黒曜石	16	5	2.8	0.2	
5-32	STY234	細石刃	黒曜石	16	5	1.0	0.1	

表1 高瀬遺跡資料一覧(2)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
5-33	STY086	細石刃	黒曜石	17	5	1.1	0.1	
5-34	STY106	細石刃	黒曜石	16	5	1.9	0.1	
5-35	STY074	細石刃	黒曜石	27	5	1.3	0.1	
5-36	STY071	細石刃	黒曜石	21	5	1.6	0.2	
5-37	STY054	細石刃	黒曜石	20	5	1.2	0.1	
5-38	STY112	細石刃	黒曜石	24	5	1.6	0.2	
5-39	STY236	細石刃	黒曜石	22	5	1.5	0.2	
5-40	STY198	細石刃	黒曜石	23	5	1.7	0.3	
5-41	STY076	細石刃	黒曜石	25	5	2.3	0.3	
5-42	STY250	細石刃	黒曜石	25	5	1.3	0.2	
5-43	STY068	細石刃	黒曜石	26	5	2.4	0.4	
5-44	STY095	細石刃	黒曜石	11	6	1.4	0.1	
5-45	STY085	細石刃	黒曜石	15	6	1.7	0.2	
5-46	STY078	細石刃	黒曜石	16	7	1.5	0.2	
5-47	STY093	細石刃	黒曜石	16	6	2.6	0.2	
5-48	STY070	細石刃	黒曜石	20	6	1.8	0.3	
6-1	STY097	細石刃	黒曜石	20	6	1.4	0.2	
6-2	STY096	細石刃	黒曜石	21	6	1.6	0.2	
6-3	STY066	細石刃	黒曜石	23	6	2.3	0.4	
6-4	STY007	細石刃	黒曜石	25	6	2.5	0.4	
6-5	STY077	細石刃	黒曜石	27	6	1.6	0.2	
6-6	STY060	細石刃	黒曜石	27	6	1.5	0.3	
6-7	STY061	細石刃	黒曜石	28	6	2.6	0.4	
6-8	STY253	細石刃	黒曜石	29	6	2.2	0.4	
6-9	STY255	細石刃	黒曜石	29	6	2.5	0.5	
6-10	STY170	細石刃	黒曜石	35	6	2.8	0.5	
6-12	STY109	細石刃	黒曜石	24	7	1.6	0.3	
6-13	STY172	細石刃	黒曜石	28	7	2.2	0.4	
6-14	STY200	細石刃	黒曜石	30	7	2.1	0.6	
7-1	STY189	細石刃	黒曜石	10	2	0.7	<0.1	
7-2	STY261	細石刃	黒曜石	10	2	0.9	<0.1	
7-3	STY055	細石刃	黒曜石	11	2	2.1	0.1	
7-4	STY181	細石刃	黒曜石	13	2	0.9	0.1	
7-5	STY186	細石刃	黒曜石	11	3	1.0	<0.1	
7-6	STY204	細石刃	黒曜石	10	3	1.2	<0.1	
7-7	STY142	細石刃	黒曜石	12	3	0.9	0.1	
7-8	STY021	細石刃	黒曜石	10	3	1.6	0.1	
7-9	STY224	細石刃	黒曜石	10	3	0.6	<0.1	
7-10	STY155	細石刃	黒曜石	12	3	0.7	<0.1	
7-11	STY154	細石刃	黒曜石	11	3	1.4	0.1	
7-12	STY211	細石刃	黒曜石	12	3	1.1	0.1	
7-13	STY047	細石刃	黒曜石	14	3	1.2	<0.1	
7-14	STY241	細石刃	黒曜石	12	3	1.3	0.1	
7-15	STY206	細石刃	黒曜石	12	3	1.3	0.1	
7-16	STY040	細石刃	黒曜石	12	3	0.8	<0.1	
7-17	STY056	細石刃	黒曜石	14	3	1.3	0.1	
7-18	STY100	細石刃	黒曜石	15	3	1.0	0.7	
7-19	STY049	細石刃	黒曜石	15	3	1.2	0.1	
7-20	STY098	細石刃	黒曜石	14	3	1.5	0.1	
7-21	STY262	細石刃	黒曜石	13	3	1.5	0.1	
7-22	STY216	細石刃	黒曜石	13	3	1.6	0.1	
7-23	STY245	細石刃	黒曜石	14	3	1.2	0.1	
7-24	STY207	細石刃	黒曜石	14	3	0.8	0.1	
7-25	STY137	細石刃	黒曜石	14	3	1.9	0.1	
7-26	STY188	細石刃	黒曜石	13	3	0.9	0.1	
7-27	STY230	細石刃	黒曜石	14	3	1.5	0.1	
7-28	STY217	細石刃	黒曜石	15	3	1.0	0.1	
7-29	STY215	細石刃	黒曜石	15	3	1.0	0.1	
7-30	STY179	細石刃	黒曜石	17	3	1.3	<0.1	
7-31	STY213	細石刃	黒曜石	16	3	0.9	<0.1	
7-32	STY063	細石刃	黒曜石	21	3	2.6	0.2	
7-33	STY046	細石刃	黒曜石	7	4	2.3	0.1	
7-34	STY185	細石刃	黒曜石	9	4	0.8	<0.1	
7-35	STY252	細石刃	黒曜石	9	4	1.2	0.1	
7-36	STY162	細石刃	黒曜石	9	4	1.3	0.1	
7-37	STY166	細石刃	黒曜石	10	4	1.6	0.1	
7-38	STY124	細石刃	黒曜石	11	4	1.1	0.1	

表 1 高瀬遺跡資料一覧 (3)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
7-39	STY182	細石刃	黒曜石	11	4	0.7	0.1	
7-40	STY168	細石刃	黒曜石	12	4	1.6	0.1	
7-41	STY152	細石刃	黒曜石	11	4	1.5	0.1	
7-42	STY205	細石刃	黒曜石	11	4	0.9	0.1	
7-43	STY192	細石刃	黒曜石	12	4	1.5	0.1	
7-44	STY029	細石刃	黒曜石	12	4	1.3	<0.1	
7-45	STY130	細石刃	黒曜石	13	4	1.5	0.1	
7-46	STY120	細石刃	黒曜石	13	4	1.5	0.1	
7-47	STY153	細石刃	黒曜石	13	4	0.9	0.1	
7-48	STY135	細石刃	黒曜石	15	4	1.8	0.2	
7-49	STY139	細石刃	黒曜石	16	4	1.5	0.1	
7-50	STY133	細石刃	黒曜石	16	4	0.9	0.1	
7-51	STY022	細石刃	黒曜石	12	4	0.9	<0.1	
7-52	STY041	細石刃	黒曜石	12	4	1.1	0.1	
7-53	STY045	細石刃	黒曜石	13	4	1.4	0.1	
7-54	STY048	細石刃	黒曜石	14	4	1.8	0.1	
8-1	STY229	細石刃	黒曜石	15	4	2.0	0.1	
8-2	STY225	細石刃	黒曜石	14	4	1.6	0.1	
8-3	STY023	細石刃	黒曜石	15	4	1.6	0.1	
8-4	STY212	細石刃	黒曜石	14	4	1.4	0.1	
8-5	STY031	細石刃	黒曜石	14	4	1.1	<0.1	
8-6	STY052	細石刃	黒曜石	15	4	2.3	0.2	
8-7	STY169	細石刃	黒曜石	17	4	1.5	0.2	
8-8	STY159	細石刃	黒曜石	17	4	1.2	0.1	
8-9	STY193	細石刃	黒曜石	17	4	1.7	0.1	
8-10	STY026	細石刃	黒曜石	16	4	1.5	0.1	
8-11	STY158	細石刃	黒曜石	17	4	1.1	0.1	
8-12	STY191	細石刃	黒曜石	18	4	1.3	0.1	
8-13	STY184	細石刃	黒曜石	16	4	0.9	0.1	
8-14	STY034	細石刃	黒曜石	18	4	1.3	0.1	
8-15	STY227	細石刃	黒曜石	18	4	1.6	0.2	
8-16	STY228	細石刃	黒曜石	16	4	1.4	0.2	
8-17	STY042	細石刃	黒曜石	17	4	2.2	0.2	
8-18	STY083	細石刃	黒曜石	19	4	1.9	0.2	
8-19	STY053	細石刃	黒曜石	18	4	1.9	0.1	
8-20	STY223	細石刃	黒曜石	16	4	1.3	0.1	
8-21	STY114	細石刃	黒曜石	17	4	1.2	0.1	
8-22	STY218	細石刃	黒曜石	19	4	1.4	0.1	
8-23	STY178	細石刃	黒曜石	20	4	1.1	0.2	
8-24	STY125	細石刃	黒曜石	19	4	1.5	0.2	
8-25	STY144	細石刃	黒曜石	20	4	0.9	0.1	
8-26	STY128	細石刃	黒曜石	21	4	1.8	0.2	
8-27	STY104	細石刃	黒曜石	19	4	1.4	0.1	
8-28	STY132	細石刃	黒曜石	21	4	1.7	0.2	
8-29	STY180	細石刃	黒曜石	23	4	2.0	0.2	
8-30	STY101	細石刃	黒曜石	23	4	1.3	0.1	
8-31	STY210	細石刃	黒曜石	24	4	1.6	0.2	
8-32	STY138	細石刃	黒曜石	33	4	2.3	0.4	
8-33	STY232	細石刃	黒曜石	9	5	0.8	0.1	
8-34	STY202	細石刃	黒曜石	12	5	1.3	0.1	
8-35	STY027	細石刃	黒曜石	13	5	1.7	0.1	
8-36	STY246	細石刃	黒曜石	14	5	1.9	0.1	
8-37	STY214	細石刃	黒曜石	13	5	0.9	0.1	
8-38	STY222	細石刃	黒曜石	13	5	1.3	0.2	
8-39	STY033	細石刃	黒曜石	16	5	1.2	0.1	
8-40	STY024	細石刃	黒曜石	15	5	1.3	0.2	
8-41	STY197	細石刃	黒曜石	16	5	1.5	0.1	
8-42	STY174	細石刃	黒曜石	17	5	1.1	0.2	
8-43	STY025	細石刃	黒曜石	17	5	2.1	0.2	
8-44	STY187	細石刃	黒曜石	16	5	1.2	0.1	
8-45	STY221	細石刃	黒曜石	16	5	1.4	0.1	
8-46	STY219	細石刃	黒曜石	15	5	1.5	0.2	
8-47	STY161	細石刃	黒曜石	15	5	1.5	0.1	
8-48	STY209	細石刃	黒曜石	18	5	1.9	0.2	
9-1	STY113	細石刃	黒曜石	18	5	1.6	0.2	
9-2	STY242	細石刃	黒曜石	20	5	2.2	0.2	
9-3	STY145	細石刃	黒曜石	18	5	1.7	0.2	

表 1 高瀬遺跡資料一覧 (4)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
9-4	STY157	細石刃	黒曜石	17	5	1.9	0.2	
9-5	STY240	細石刃	黒曜石	18	5	1.9	0.2	
9-6	STY176	細石刃	黒曜石	18	5	1.6	0.2	
9-7	STY105	細石刃	黒曜石	18	5	2.4	0.3	
9-8	STY092	細石刃	黒曜石	18	5	2.3	0.3	
9-9	STY131	細石刃	黒曜石	22	5	2.1	0.2	
9-10	STY177	細石刃	黒曜石	22	5	1.0	0.1	
9-11	STY058	細石刃	黒曜石	21	5	2.3	0.2	
9-11	STY195	細石刃	黒曜石	18	7	2.0	0.3	
9-12	STY099	細石刃	黒曜石	20	5	1.2	0.2	
9-13	STY136	細石刃	黒曜石	21	5	2.9	0.4	
9-14	STY059	細石刃	黒曜石	20	5	2.6	0.3	
9-15	STY102	細石刃	黒曜石	22	5	2.1	0.2	
9-16	STY127	細石刃	黒曜石	26	5	1.8	0.3	
9-17	STY248	細石刃	黒曜石	27	5	1.4	0.2	
9-18	STY257	細石刃	黒曜石	26	5	1.9	0.3	
9-19	STY030	細石刃	黒曜石	16	5	1.9	0.3	
9-20	STY160	細石刃	黒曜石	30	5	1.8	0.3	
9-21	STY173	細石刃	黒曜石	30	5	1.8	0.4	
9-22	STY143	細石刃	黒曜石	10	6	1.4	0.1	
9-23	STY163	細石刃	黒曜石	11	6	1.4	0.1	
9-24	STY243	細石刃	黒曜石	13	6	1.1	0.1	
9-25	STY028	細石刃	黒曜石	12	6	1.9	0.1	
9-26	STY121	細石刃	黒曜石	13	6	1.7	0.2	
9-27	STY118	細石刃	黒曜石	13	5	1.2	0.1	
9-28	STY050	細石刃	黒曜石	12	6	1.4	0.1	
9-29	STY237	細石刃	黒曜石	15	6	1.8	0.2	
9-30	STY231	細石刃	黒曜石	15	6	1.4	0.1	
9-31	STY088	細石刃	黒曜石	14	6	1.0	0.1	
9-32	STY146	細石刃	黒曜石	15	6	1.4	0.1	
9-33	STY156	細石刃	黒曜石	14	6	1.3	0.2	
9-34	STY065	細石刃	黒曜石	27	6	2.5	0.3	
9-35	STY251	細石刃	黒曜石	17	6	2.0	0.2	
9-36	STY036	細石刃	黒曜石	18	6	2.0	0.3	
9-38	STY165	細石刃	黒曜石	16	6	1.5	0.2	
9-39	STY039	細石刃	黒曜石	17	6	1.5	0.2	
9-39	STY134	細石刃	黒曜石	17	6	1.7	0.2	
9-40	STY117	細石刃	黒曜石	19	6	1.2	0.2	
9-41	STY057	細石刃	黒曜石	18	6	1.1	0.2	
9-42	STY164	細石刃	黒曜石	19	6	1.7	0.3	
9-43	STY239	細石刃	黒曜石	15	6	2.3	0.3	
9-44	STY208	細石刃	黒曜石	16	6	1.5	0.2	
9-45	STY147	細石刃	黒曜石	19	6	1.8	0.2	
9-46	STY122	細石刃	黒曜石	19	6	1.9	0.2	
9-47	STY196	細石刃	黒曜石	19	6	1.5	0.2	
9-48	STY220	細石刃	黒曜石	21	6	1.2	0.2	
10-1	STY167	細石刃	黒曜石	20	6	1.7	0.3	
10-2	STY111	細石刃	黒曜石	22	6	1.6	0.2	
10-3	STY116	細石刃	黒曜石	23	6	1.9	0.3	
10-4	STY260	細石刃	黒曜石	24	6	2.1	0.3	
10-5	STY119	細石刃	黒曜石	26	6	1.8	0.3	
10-6	STY090	細石刃	黒曜石	35	6	3.1	0.8	
10-8	STY126	細石刃	黒曜石	20	7	1.0	0.1	
10-9	STY183	細石刃	黒曜石	12	7	1.1	0.1	
10-10	STY129	細石刃	黒曜石	11	8	2.0	0.3	
10-11	STY020	細石刃	黒曜石	18	8	1.6	0.3	
10-12	STY175	細石刃	黒曜石	20	8	2.1	0.4	
10-13	STY035	細石刃	黒曜石	24	8	3.5	0.7	
10-14	STY069	細石刃	黒曜石	25	8	1.9	0.4	
10-15	STY149	細石刃	黒曜石	27	8	3.1	0.9	
10-16	STY171	細石刃	黒曜石	33	8	2.0	0.6	
10-17	STY226	細石刃	黒曜石	15	2	1.1	0.1	
10-18	STY123	細石刃	黒曜石	15	3	1.2	<0.1	
10-19	STY190	細石刃	黒曜石	16	3	1.3	0.1	
10-20	STY151	細石刃	黒曜石	17	3	1.1	0.1	
10-21	STY043	細石刃	黒曜石	23	3	2.3	0.2	
10-22	STY032	細石刃	黒曜石	16	4	0.9	<0.1	

表1 高瀬遺跡資料一覧 (5)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
10-23	STY148	細石刃	黒曜石	16	4	1.8	0.1	
10-24	STY044	細石刃	黒曜石	18	4	1.0	0.1	
10-25	STY038	細石刃	黒曜石	19	4	1.7	0.1	
10-26	STY150	細石刃	黒曜石	22	4	1.1	0.1	
10-27	STY235	細石刃	黒曜石	31	4	2.4	0.3	
10-28	STY091	細石刃	黒曜石	31	5	3.1	0.4	
10-29	STY072	細石刃	黒曜石	24	5	2.7	0.3	
10-30	STY259	細石刃	黒曜石	24	8	1.4	0.4	
10-37	STY037	細石刃	黒曜石	19	7	1.7	0.2	
	STY361	細石刃	黒曜石	22	9	3.3	0.7	
	STY366	細石刃	黒曜石	32	7	2.3	0.5	
	STY367	細石刃	黒曜石	33	7	3.2	0.9	
11-1	STY410	石刃	チャート	24	24	4.5	2.5	
11-2	STY403	石刃	チャート	37	36	6.1	8.4	
11-3	STY391	石刃	チャート	47	12	3.4	2.0	
11-4	STY401	石刃	チャート	44	16	5.8	3.6	
11-5	STY395	石刃	チャート	54	23	6.5	6.2	
11-6	STY399	石刃	チャート	73	22	10.4	12.6	
11-7	STY397	石刃	チャート	68	39	10.5	26.0	
12-1	STY375	石刃	黒曜石	32	10	2.5	1.3	
12-2	STY418	石刃	黒曜石	39	24	5.5	3.6	擦痕有
12-3	STY373	石刃	黒曜石	43	11	3.5	1.5	
12-4	STY381	石刃	黒曜石	49	20	5.5	3.4	
12-5	STY374	稜付石刃	黒曜石	59	14	5.9	4.2	
12-6	STY380	打面再生剥片	黒曜石	40	27	5.5	5.3	背面に擦痕有
14-2	STY388	石刃	黒曜石	52	22	7.0	8.1	276と接合
12-7	STY400	石刃	硬質頁岩	54	14	7.3	4.2	
	STY362	石刃	黒曜石	23	14	3.9	1.2	
	STY363	石刃	黒曜石	13	13	4.7	0.8	
	STY364	石刃	黒曜石	21	13	2.8	0.8	
	STY365	石刃	黒曜石	30	11	3.3	0.9	
	STY368	石刃	黒曜石	30	13	4.4	1.5	
	STY369	石刃	黒曜石	23	12	4.1	1.1	
	STY371	石刃	黒曜石	36	20	5.6	3.4	
	STY372	石刃	黒曜石	24	9	2.5	0.7	
	STY376	石刃	黒曜石	25	14	3.0	0.8	378と接合
	STY377	石刃	黒曜石	42	18	6.5	5.2	
	STY378	石刃	黒曜石	26	19	3.9	1.9	376と接合
	STY382	石刃	黒曜石	40	18	4.0	2.6	
	STY384	石刃	黒曜石	48	13	4.7	2.0	
	STY386	石刃	黒曜石	30	23	6.4	4.5	
	STY387	石刃	黒曜石	53	16	6.3	4.7	
	STY389	石刃	黒曜石	50	18	4.8	3.6	
	STY415	石刃	黒曜石	43	23	9.2	3.9	
	STY417	石刃	黒曜石	38	20	3.4	2.1	
	STY421	石刃	黒曜石	34	27	6.4	5.6	
	STY423	石刃	黒曜石	25	12	1.9	0.6	
	STY425	石刃	黒曜石	22	10	4.2	0.7	
	STY390	石刃	チャート	19	9	2.4	0.4	
	STY393	石刃	チャート	46	23	6.7	5.1	
	STY394	石刃	チャート	39	11	2.8	1.0	
	STY402	石刃	チャート	39	21	5.9	3.8	
	STY404	石刃	チャート	45	17	7.5	5.1	
	STY405	石刃	チャート	25	15	6.0	1.7	
	STY406	石刃	チャート	35	17	2.5	1.3	
	STY408	石刃	チャート	20	25	4.2	1.6	
	STY409	石刃	チャート	27	23	9.5	6.0	
	STY441	石刃	チャート	49	24	11.7	14.2	
	STY442	石刃	チャート	40	13	4.6	2.1	
	STY443	石刃	チャート	53	26	8.1	10.7	
	STY446	石刃	チャート	29	14	2.9	1.4	
	STY447	石刃	チャート	67	21	7.9	9.3	
	STY450	石刃	チャート	47	13	6.7	3.8	
	STY451	石刃	チャート	42	25	8.1	8.0	
	STY452	石刃	チャート	49	24	6.9	8.6	
	STY453	石刃	チャート	45	30	8.7	10.6	
	STY458	石刃	チャート	85	45	16.8	47.7	

表1 高瀬遺跡資料一覧 (6)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
	STY461	石刃	チャート	49	14	5	2.4	
	STY462	石刃	チャート	37	25	5.2	5.1	
	STY463	石刃	チャート	55	19	8.3	7.7	
	STY465	石刃	チャート	42	26	10.3	11.3	
	STY466	石刃	チャート	34	20	5.8	3.8	
	STY469	石刃	チャート	50	17	4.6	3.2	
	STY475	石刃	チャート	57	22	7.0	8.1	
	STY476	石刃	チャート	73	36	12.5	16.5	二次加工有
	STY392	石刃	硬質頁岩	57	16	7.9	5.3	
	STY407	石刃	硬質頁岩	37	11	1.8	0.7	
13-1	STY273	彫器	黒曜石	39	18	10.0	6.3	
13-2	STY277	彫器	黒曜石	42	15	11.8	10.1	
13-3	STY272	彫器	黒曜石	61	29	11.0	20.8	I,307と接合
13-4	STY275	彫器	黒曜石	48	21	9.1	11.7	
13-5	STY274	彫器	黒曜石	61	40	15.4	44.5	
14-1	STY279	彫器	黒曜石	62	29	11.2	18.9	
14-2	STY276	彫器	黒曜石	53	21	7.4	7.4	388と接合
14-3	STY278	彫器	黒曜石	46	39	10.6	20.2	
15-1	STY290	彫器	チャート	50	21	13.6	10.0	
15-2	STY281	彫器	チャート	56	29	6.3	13.8	
15-3	STY288	彫器	チャート	80	32	12.8	33.9	
16-1	STY296	彫器	チャート	51	14	9.4	5.6	
16-2	STY293	彫器	チャート	47	24	5.6	5.1	
16-3	STY280	彫器	チャート	58	25	6.2	6.8	
16-4	STY289	彫器	チャート	62	17	7.9	6.3	
16-5	STY285	彫器	チャート	67	29	11.4	20.9	
16-6	STY398	彫器	チャート	64	33	10.7	23.9	
17-1	STY292	彫器	チャート	22	16	5.8	1.9	
17-2	STY287	彫器	チャート	30	22	5.9	4.3	
17-3	STY283	彫器	チャート	31	21	7.3	3.8	
17-4	STY294	彫器	チャート	38	17	6.9	4.5	
17-5	STY284	彫器	チャート	69	34	12.9	35.4	
17-6	STY286	彫器	チャート	59	31	9.9	17.3	
17-7	STY282	彫器	硬質頁岩	44	24	6.9	5.3	
17-8	STY295	彫器	硬質頁岩	46	21	8.1	7.8	
	STY383	彫器	黒曜石	31	14	5.1	2.1	
	STY271	彫器	黒曜石	35	19	8.5	5.4	
	STY291	彫器	チャート	33	20	7.8	5.5	
18-1	STY321	彫器削片	黒曜石	6	3	2.6	0.1	
18-2	STY003	彫器削片	黒曜石	12	5	1.2	<0.1	
13-3	STY307	彫器削片	黒曜石	39	7	4.7	1.3	272と接合
18-3	STY051	彫器削片	黒曜石	13	6	1.4	0.1	
18-4	STY323	彫器削片	黒曜石	15	4	2.0	0.1	
18-5	STY002	彫器削片	黒曜石	15	4	1.4	<0.1	
18-5	STY325	彫器削片	黒曜石	16	3	2.6	0.1	
18-7	STY012	彫器削片	黒曜石	16	6	2.6	0.2	
18-8	STY332	彫器削片	黒曜石	16	5	2.1	0.2	
18-9	STY330	彫器削片	黒曜石	17	6	4.6	0.4	
18-10	STY010	彫器削片	黒曜石	17	7	1.7	0.3	
18-11	STY006	彫器削片	黒曜石	20	5	2.0	0.2	
18-12	STY019	彫器削片	黒曜石	20	4	2.0	0.2	
18-13	STY322	彫器削片	黒曜石	18	3	2.4	0.2	
18-14	STY324	彫器削片	黒曜石	19	9	1.6	0.3	
18-15	STY064	彫器削片	黒曜石	22	5	2.2	0.2	
18-16	STY008	彫器削片	黒曜石	22	5	2.2	0.3	
18-17	STY329	彫器削片	黒曜石	22	6	4.0	0.7	
18-18	STY018	彫器削片	黒曜石	22	4	2.5	0.2	
18-19	STY258	彫器削片	黒曜石	22	7	1.5	0.3	
18-20	STY015	彫器削片	黒曜石	25	8	2.2	0.3	
18-21	STY017	彫器削片	黒曜石	25	6	2.2	0.2	
18-22	STY013	彫器削片	黒曜石	24	6	2.0	0.4	
18-23	STY331	彫器削片	黒曜石	26	5	2.2	0.3	
18-24	STY011	彫器削片	黒曜石	25	9	2.1	0.5	
18-25	STY328	彫器削片	黒曜石	26	6	2.7	0.5	
18-26	STY326	彫器削片	黒曜石	29	6	3.4	0.6	
18-27	STY016	彫器削片	黒曜石	29	7	4.1	0.8	
18-28	STY014	彫器削片	黒曜石	38	7	4.1	0.9	

表1 高瀬遺跡資料一覧 (7)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
18-29	STY327	彫器削片	黒曜石	33	9	5.9	1.0	
18-30	STY336	彫器削片	チャート	15	7	4.9	0.5	
18-31	STY334	彫器削片	チャート	45	7	8.9	2.5	
18-32	STY338	彫器削片	チャート	43	6	6.6	1.2	
18-33	STY339	彫器削片	チャート	38	8	5.7	1.5	
	STY424	彫器削片	黒曜石	24	6	2.0	0.4	
	STY335	彫器削片	チャート	32	6	8.9	1.6	
	STY337	彫器削片	チャート	37	6	8.6	1.5	
	STY438	彫器削片	チャート	40	12	9.5	4.4	
19-1	STY420	削器	黒曜石	39	23	7.3	6.0	
19-2	STY414	削器	黒曜石	48	42	10.5	18.0	
19-3	STY359	削器	黒曜石	60	36	9.6	18.7	
19-4	STY472	削器	チャート	49	23	8.9	11.1	
19-5	STY471	削器	チャート	52	29	9.0	13.9	
19-6	STY434	削器	チャート	52	36	16.5	23.2	
	STY360	削器	黒曜石	45	31	11.1	9.4	
	STY379	削器	黒曜石	30	20	5.2	3.5	
	STY422	削器	黒曜石	28	20	4.7	2.4	
	STY449	削器	チャート	38	26	8.3	8.7	
	STY473	削器	チャート	51	24	6.3	6.4	
20-1	STY344	搔器	チャート	33	28	5.6	6.1	
20-2	STY343	搔器	チャート	33	22	6.5	4.3	
20-3	STY345	搔器	チャート	31	22	8.7	5.3	
20-4	STY348	搔器	チャート	36	26	6.2	5.7	
20-5	STY347	搔器	チャート	46	30	7.2	9.8	
20-6	STY346	搔器	チャート	51	25	7.6	11.0	
20-7	STY352	搔器	チャート	43	31	6.2	10.2	
20-8	STY474	搔器	チャート	38	23	8.2	5.9	
21-1	STY341	搔器	黒曜石	50	24	11.0	12.9	
21-2	STY340	搔器	黒曜石	38	21	5.4	4.8	
21-3	STY350	搔器	チャート	23	27	6.0	3.7	
21-4	STY342	搔器	チャート	27	32	5.7	5.0	
21-5	STY351	搔器	チャート	36	25	7.8	6.7	
21-6	STY349	搔器	チャート	24	9	5.4	1.3	
	STY416	搔器	黒曜石	39	23	4.6	3.3	
22-2	STY413	尖頭器	黒曜石	72	22	9.4	14.9	
22-3	STY426	尖頭器	チャート	127	49	14.7	84.9	
22-1	STY427	尖頭器	チャート	59	25	12.9	17.9	
22-5	STY411	有茎尖頭器(クキ)	黒曜石	16	13	5.5	1.0	
22-4	STY412	有茎尖頭器(クキ)	黒曜石	14	12	5.1	0.7	
23-1	STY355	錐形石器	チャート	71	20	11.6	13.1	
23-2	STY357	錐形石器	チャート	56	19	6.2	5.7	
23-3	STY354	錐形石器	チャート	37	21	4.7	3.0	
23-4	STY353	錐形石器	チャート	62	23	7.0	7.8	
23-5	STY356	錐形石器	チャート	70	25	12.6	18.8	
	STY477	錐形石器	チャート	44	18	7.6	4.1	
24-1	STY431	斧形石器	砂岩	57	39	8.4	21.6	
24-2	STY429	斧形石器	砂岩	49	33	9.9	15.6	
24-3	STY430	斧形石器	砂岩	60	37	6.8	14.1	
	STY428	斧形石器	砂岩	47	28	8.3	9.7	
25-1	STY440	石核	チャート	95	72	39.5	273.6	
	STY005	剥片	黒曜石	10	5	0.8	<0.1	
	STY009	剥片	黒曜石	23	7	1.6	0.3	
	STY140	剥片	黒曜石	20	5	2.5	0.2	
	STY419	剥片	黒曜石	33	28	6.4	5.1	
	STY432	剥片	チャート	41	67	6.7	17.4	
	STY433	剥片	チャート	25	11	2.2	0.4	
	STY435	剥片	チャート	84	40	10.2	27.8	
	STY436	剥片	チャート	23	29	5.1	3.2	
	STY437	剥片	チャート	43	27	7.5	6.8	
	STY439	剥片	チャート	24	18	3.9	1.7	
	STY444	剥片	チャート	26	39	6.3	6.4	
	STY445	剥片	チャート	29	28	6.1	5.6	
	STY448	剥片	チャート	27	17	5.2	2.4	
	STY454	剥片	チャート	51	35	10.2	13.9	
	STY455	剥片	チャート	28	21	5.4	2.9	
	STY456	剥片	チャート	30	34	10.2	8.1	

表1 高瀬遺跡資料一覧(8)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
	STY457	剥片	チャート	20	22	3.9	1.5	
	STY459	剥片	チャート	22	12	2.7	0.8	
	STY460	剥片	チャート	34	29	11.7	12.7	
	STY464	剥片	チャート	40	26	5.4	3.9	
	STY467	剥片	チャート	49	19	4.5	3.4	
	STY468	剥片	チャート	74	50	10.7	41.1	
	STY470	剥片	チャート	23	24	5.9	3.4	二次加工有
26-1	STS077	削片	黒曜石	55	11	7.4	3.5	
26-2	STS090	広郷型細石刃核	黒曜石	42	29	7.5	9.3	
26-3	STS085	削器	黒曜石	65	24	7.5	12.9	
26-4	STS094	削器	黒曜石	66	35	12.0	18.5	
	STS086	削器	黒曜石	64	52	10.8	39.8	
	STS088	削器	黒曜石	48	30	8.0	6.3	
	STS089	削器	黒曜石	20	18	9.0	3.3	
	STS092	削器	黒曜石	39	26	8.8	16.7	
	STS093	削器	黒曜石	45	27	8.4	16.5	
	STS096	削器	黒曜石	39	26	6.8	5.4	95と接合
	STS099	削器	黒曜石	47	24	11.8	15.5	
	STS119	削器	黒曜石	88	48	13.3	58.4	
	STS120	削器	黒曜石	77	41	12.5	29.5	
	STS127	削器	チャート	64	22	12.6	17.6	
	STS128	削器	チャート	95	65	20.1	123.7	
	STS172	削器	チャート	68	37	12.9	33.5	
	STS173	削器	チャート	66	25	17.6	34.5	
26-5	STS102	搔器	黒曜石	56	25	10.3	11.9	
	STS117	搔器	黒曜石	54	50	17.4	46.1	
	STS134	搔器	チャート	37	26	5.1	5.2	
	STS135	搔器	チャート	24	25	4.9	3.5	
26-6	STS106	楔形石器	黒曜石	58	43	12.0	30.7	
	STS112	尖頭器	黒曜石	51	46	6.7	14.2	
	STS113	尖頭器	黒曜石	69	27	7.4	10.0	
	STS131	尖頭器	チャート	62	36	13.4	30.2	
	STS132	尖頭器	チャート	43	31	9.3	12.4	
	STS133	尖頭器	チャート	71	49	19.4	62.9	
26-7	STS105	彫器	黒曜石	58	32	10.0	20.6	
	STS122	彫器	チャート	65	32	10.6	18.7	
	STS123	彫器	チャート	78	40	11.5	36.7	
	STS124	彫器	チャート	44	25	5.8	7.3	
	STS125	彫器	チャート	34	22	13.8	10.9	
	STS126	彫器	チャート	62	82	20.7	99.8	
	STS171	彫器	チャート	40	12	3.9	2.3	
26-8	STS057	彫器削片	黒曜石	16	3	2.8	0.1	
26-9	STS036	彫器削片	黒曜石	18	5	2.1	0.2	
26-10	STS035	彫器削片	黒曜石	32	7	5.5	1.3	
26-11	STS020	彫器削片	黒曜石	25	6	3.1	0.4	
	STS176	彫器削片	チャート	47	7	7.8	1.7	
	STS177	彫器削片	チャート	25	8	1.5	0.4	
27-1	STS069	石刃	黒曜石	17	10	2.2	0.5	
27-2	STS055	石刃	黒曜石	20	16	1.7	0.6	
27-3	STS068	石刃	黒曜石	27	11	2.9	0.9	
27-4	STS083	石刃	黒曜石	33	18	4.1	2.2	
27-5	STS067	石刃	黒曜石	29	11	2.5	0.7	
27-6	STS070	石刃	黒曜石	28	12	2.4	1.0	
27-7	STS081	石刃	黒曜石	35	10	2.9	1.4	
27-8	STS100	石刃	黒曜石	40	25	7.4	7.9	
27-9	STS110	石刃	黒曜石	78	53	10.9	48.9	
27-10	STS098	石刃	黒曜石	38	25	7.1	5.8	108と接合
27-10	STS108	石刃	黒曜石	53	31	6.9	11.5	98と接合
	STS071	石刃	黒曜石	41	14	2.9	1.5	
	STS072	石刃	黒曜石	31	15	5.0	2.2	
	STS073	石刃	黒曜石	20	17	6.1	2.6	
	STS074	石刃	黒曜石	35	14	3.4	1.7	
	STS075	石刃	黒曜石	31	10	4.1	1.0	
	STS076	石刃	黒曜石	35	9	5.0	1.2	
	STS078	石刃	黒曜石	15	15	4.9	1.2	
	STS079	石刃	黒曜石	35	20	5.2	2.5	
	STS080	石刃	黒曜石	29	23	7.3	5.0	

表 1 高瀬遺跡資料一覧 (9)

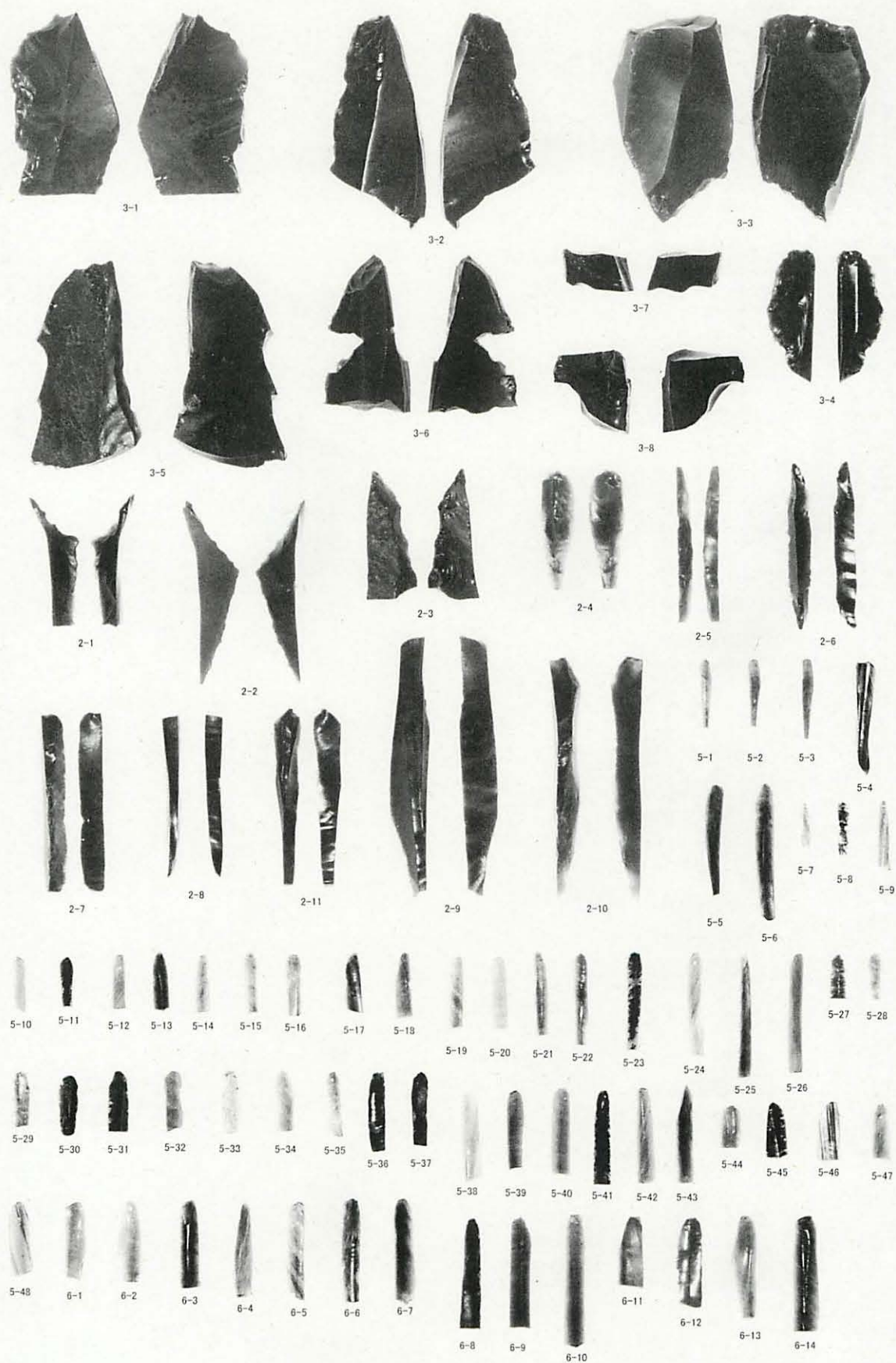
図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
	STS084	石刃	黒曜石	60	30	10.0	14.8	
	STS087	石刃	黒曜石	25	18	5.3	2.3	
	STS091	石刃	黒曜石	50	30	5.0	7.9	
	STS095	石刃	黒曜石	34	33	7.1	9.9	96と接合
	STS097	石刃	黒曜石	60	16	5.4	4.5	
	STS101	石刃	黒曜石	26	19	5.6	3.0	
	STS103	石刃	黒曜石	47	31	6.9	11.2	
	STS104	石刃	黒曜石	30	19	5.5	2.2	
	STS107	石刃	黒曜石	22	15	5.0	1.7	
	STS109	石刃	黒曜石	64	36	6.1	15.2	
	STS136	石刃	チャート	137	45	23.8	105.5	
	STS137	石刃	チャート	57	13	5.6	3.9	
	STS138	石刃	チャート	44	20	6.6	6.4	
	STS139	石刃	チャート	30	36	4.0	3.8	
	STS140	石刃	チャート	44	19	5.3	4.6	
	STS141	石刃	チャート	50	34	6.2	12.8	
	STS142	石刃	チャート	46	38	7.8	12.4	
	STS143	石刃	チャート	54	17	4.7	3.8	
	STS144	石刃	チャート	42	25	5.3	4.4	
	STS145	石刃	チャート	51	20	7.0	6.5	
	STS146	石刃	チャート	39	28	5.7	7.1	
	STS147	石刃	チャート	46	25	8.6	9.7	
	STS148	石刃	チャート	60	32	7.5	11.0	
	STS149	石刃	チャート	67	27	8.3	15.8	
	STS150	石刃	チャート	67	16	5.5	5.0	
	STS151	石刃	チャート	59	30	13.0	22.5	
	STS152	石刃	チャート	71	36	11.7	26.0	
	STS153	石刃	チャート	101	24	6.0	11.2	
	STS154	石刃	チャート	46	21	7.7	7.4	
	STS155	石刃	チャート	114	31	14.5	38.3	
	STS156	石刃	チャート	61	23	14.7	21.8	
	STS157	石刃	チャート	41	26	9.5	9.7	
	STS158	石刃	チャート	48	29	9.8	9.5	
	STS159	石刃	チャート	39	22	9.4	7.3	
	STS160	石刃	チャート	52	25	7.7	9.5	
	STS161	石刃	チャート	60	27	9.2	9.9	
	STS162	石刃	チャート	50	17	4.6	3.3	
	STS163	石刃	チャート	64	18	5.9	5.7	
	STS164	石刃	チャート	55	21	7.2	7.6	
	STS165	石刃	チャート	55	28	5.5	9.6	
	STS166	石刃	チャート	31	19	6.6	4.5	
	STS167	石刃	チャート	28	17	2.7	1.4	
	STS168	石刃	チャート	31	15	1.9	1.0	
	STS169	石刃	チャート	28	14	4.5	1.9	
	STS170	石刃	チャート	76	30	10.9	24.6	
28-1	STS030	細石刃	黒曜石	26	4	3.0	0.3	
28-2	STS031	細石刃	黒曜石	34	7	2.1	0.4	
28-3	STS059	細石刃	黒曜石	14	4	1.4	0.1	
28-4	STS003	細石刃	黒曜石	17	4	0.7	0.1	
28-5	STS040	細石刃	黒曜石	18	4	1.1	0.1	
28-6	STS058	細石刃	黒曜石	17	4	1.3	0.1	
28-7	STS065	細石刃	黒曜石	10	5	1.2	0.1	
28-8	STS042	細石刃	黒曜石	13	5	1.6	0.2	
28-9	STS010	細石刃	黒曜石	16	5	1.3	0.1	
28-10	STS047	細石刃	黒曜石	19	5	1.0	0.1	
28-11	STS051	細石刃	黒曜石	18	5	1.4	0.2	
28-12	STS021	細石刃	黒曜石	21	5	1.4	0.2	
28-13	STS014	細石刃	黒曜石	9	6	1.1	0.1	
28-14	STS006	細石刃	黒曜石	10	6	1.7	0.1	
28-15	STS048	細石刃	黒曜石	12	6	1.2	0.1	
28-16	STS046	細石刃	黒曜石	14	6	1.7	0.2	
28-17	STS024	細石刃	黒曜石	25	6	2.7	0.3	
28-18	STS033	細石刃	黒曜石	26	6	2.9	0.4	
28-19	STS025	細石刃	黒曜石	21	7	1.2	0.2	
28-20	STS011	細石刃	黒曜石	10	3	1.0	0.1	
28-21	STS005	細石刃	黒曜石	14	3	1.3	0.1	
28-22	STS008	細石刃	黒曜石	14	3	1.1	0.1	

表1 高瀬遺跡資料一覧(10)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
28-23	STS009	細石刃	黒曜石	14	3	1.3	0.1	
28-24	STS061	細石刃	黒曜石	15	3	1.1	0.1	
28-25	STS013	細石刃	黒曜石	15	3	0.9	0.1	
28-26	STS037	細石刃	黒曜石	22	3	1.3	0.1	
28-27	STS012	細石刃	黒曜石	8	4	1.1	<0.1	
28-28	STS064	細石刃	黒曜石	9	4	1.3	0.1	
28-29	STS017	細石刃	黒曜石	9	4	0.7	<0.1	
28-30	STS026	細石刃	黒曜石	9	4	1.0	<0.1	
28-31	STS015	細石刃	黒曜石	10	4	1.4	0.1	
28-32	STS007	細石刃	黒曜石	12	4	1.5	0.1	
28-33	STS062	細石刃	黒曜石	13	4	1.0	0.1	
28-34	STS054	細石刃	黒曜石	14	4	1.0	0.1	
28-35	STS039	細石刃	黒曜石	17	4	1.8	0.2	
28-36	STS066	細石刃	黒曜石	6	5	1.2	0.1	
28-37	STS027	細石刃	黒曜石	10	5	1.3	0.1	
28-38	STS018	細石刃	黒曜石	11	5	1.5	0.1	
28-39	STS044	細石刃	黒曜石	11	5	1.0	0.1	
28-40	STS063	細石刃	黒曜石	12	5	0.7	0.1	
28-41	STS004	細石刃	黒曜石	14	5	1.0	0.1	
28-42	STS052	細石刃	黒曜石	16	5	1.4	0.1	
28-43	STS041	細石刃	黒曜石	18	5	1.3	0.1	
28-44	STS049	細石刃	黒曜石	18	5	1.3	0.1	
28-45	STS022	細石刃	黒曜石	18	6	1.1	0.2	
28-46	STS023	細石刃	黒曜石	18	6	1.5	0.2	
28-47	STS029	細石刃	黒曜石	25	6	1.4	0.3	
28-48	STS045	細石刃	黒曜石	16	6	2.1	0.2	
28-49	STS053	細石刃	黒曜石	12	6	1.3	0.2	
28-50	STS060	細石刃	黒曜石	11	6	1.6	0.1	
28-51	STS019	細石刃	黒曜石	22	7	2.0	0.3	
28-52	STS032	細石刃	黒曜石	18	7	2.0	0.3	
28-53	STS038	細石刃	黒曜石	17	7	1.5	0.2	
28-54	STS050	細石刃	黒曜石	12	7	1.6	0.2	
28-55	STS001	細石刃	黒曜石	13	8	2.0	0.3	
28-56	STS002	細石刃	黒曜石	21	3	1.0	0.1	
28-57	STS043	細石刃	黒曜石	17	5	2.0	0.1	
	STS016	細石刃	黒曜石	23	5	1.8	0.3	
	STS056	細石刃	黒曜石	15	6	1.4	0.1	
	STS178	細石刃	チャート	23	11	4.4	1.0	
	STS179	細石刃	チャート	14	8	2.9	0.3	
	STS180	細石刃	チャート	23	9	2.9	0.2	
	STS116	錐形石器	黒曜石	56	49	9.4	21.0	
	STS174	錐形石器	チャート	69	18	17.0	14.9	
	STS175	錐形石器	チャート	41	16	5.9	3.8	
	STS114	石鏃	黒曜石	31	12	2.1	0.9	
	STS115	石鏃	黒曜石	32	22	3.0	2.1	
	STS129	つまみ付きナイフ	チャート	85	27	12.3	25.9	
	STS130	つまみ付きナイフ	チャート	70	31	10.3	22.6	
	STS121	石核	黒曜石	46	38	28.9	40.5	
	STS181	石核	チャート	51	52	75.2	198.0	
	STS183	石核	チャート	54	85	70.4	266.1	
	STS184	石核	チャート	95	74	59.9	417.5	
	STS185	石核	チャート	93	73	35.7	244.9	
	STS186	石核	チャート	80	73	34.8	199.7	
	STS187	石核	チャート	81	53	66.0	257.8	
	STS188	石核	チャート	63	57	39.0	140.5	
	STS189	石核	チャート	67	65	48.5	203.9	
	STS028	剥片	黒曜石	15	9	1.5	0.2	
	STS034	剥片	黒曜石	17	8	2.9	0.3	
	STS082	剥片	黒曜石	30	17	8.4	4.1	
	STS111	剥片	黒曜石	47	40	18.6	27.5	
	STS118	剥片	黒曜石	35	32	13.3	14.2	
	STS182	剥片	チャート	72	58	34.6	158.6	
	STS190	剥片	チャート	47	69	20.4	49.1	
	STS191	剥片	チャート	29	31	7.8	5.9	
	STS192	剥片	チャート	51	31	15.1	22.0	
	STS193	剥片	チャート	44	60	15.8	26.3	
29-1	表採1-1	有茎尖頭器	黒曜石	79	20	12.2	10.96	

表 1 高瀬遺跡資料一覧 (11)

図版	遺物番号	器 種 名 称	石器石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重 量(g)	備 考
30-1	表採2-4	彫器	黒曜石	81	30	12.8	24.35	
30-2	表採2-9	搔器	黒曜石	47	28	13.2	14.52	
31-1	表採2-1	石核	チャート	97	72	51.8	307.45	
32-1	表採2-3	石核	チャート	80	60	40.5	235.85	
32-2	表採2-20	石核	チャート	66	44	30.4	89.72	未報告資料
	表採2-2	削器	硬質真岩	53	20	6.0	5.52	
	表採2-5	搔器	黒曜石	63	20	11.4	9.66	
	表採2-6	搔器	黒曜石	57	30	11.9	17.94	
	表採2-7	搔器	チャート	36	28	8.2	9.19	
	表採2-8	搔器	硬質真岩	47	20	8.9	5.91	
	表採2-10	搔器	チャート	75	28	15.1	32.15	
	表採2-11	搔器	黒曜石	70	32	22.2	28.85	
	表採2-12	つまみ付きナイフ	黒曜石	76	17	7.5	8.59	
	表採2-13	彫器	黒曜石	56	20	11.1	13.84	未報告資料
	表採2-14	彫器	チャート	69	31	8.5	12.70	未報告資料
32-4	表採2-15	石刃	黒曜石	72	28	8.1	15.07	未報告資料
	表採2-16	石刃	黒曜石	117	25	12.6	29.84	未報告資料
32-3	表採2-17	石刃	黒曜石	45	26	6.5	7.34	未報告資料
	表採2-18	石刃	黒曜石	66	24	5.2	5.41	未報告資料
	表採2-19	石刃	チャート	97	34	9.2	27.66	未報告資料
	表採2-21	彫器削片	黒曜石	37	15	6.8	4.27	未報告資料
	表採2-22	有茎尖頭器	黒曜石					
	表採2-23	船底形石器	黒曜石					
	表採2-24	石核	黒曜石					
	表採2-25	石核	黒曜石					
	表採2-26	両面加工石器	黒曜石					
	表採2-27	両面加工石器	黒曜石					
	表採2-28	両面加工石器	黒曜石					



1. 石器(1) 細石刃核・削片・細石刃



2. 石器(2) 細石刃・石刃



3. 石器 (3) 石刃・彫器



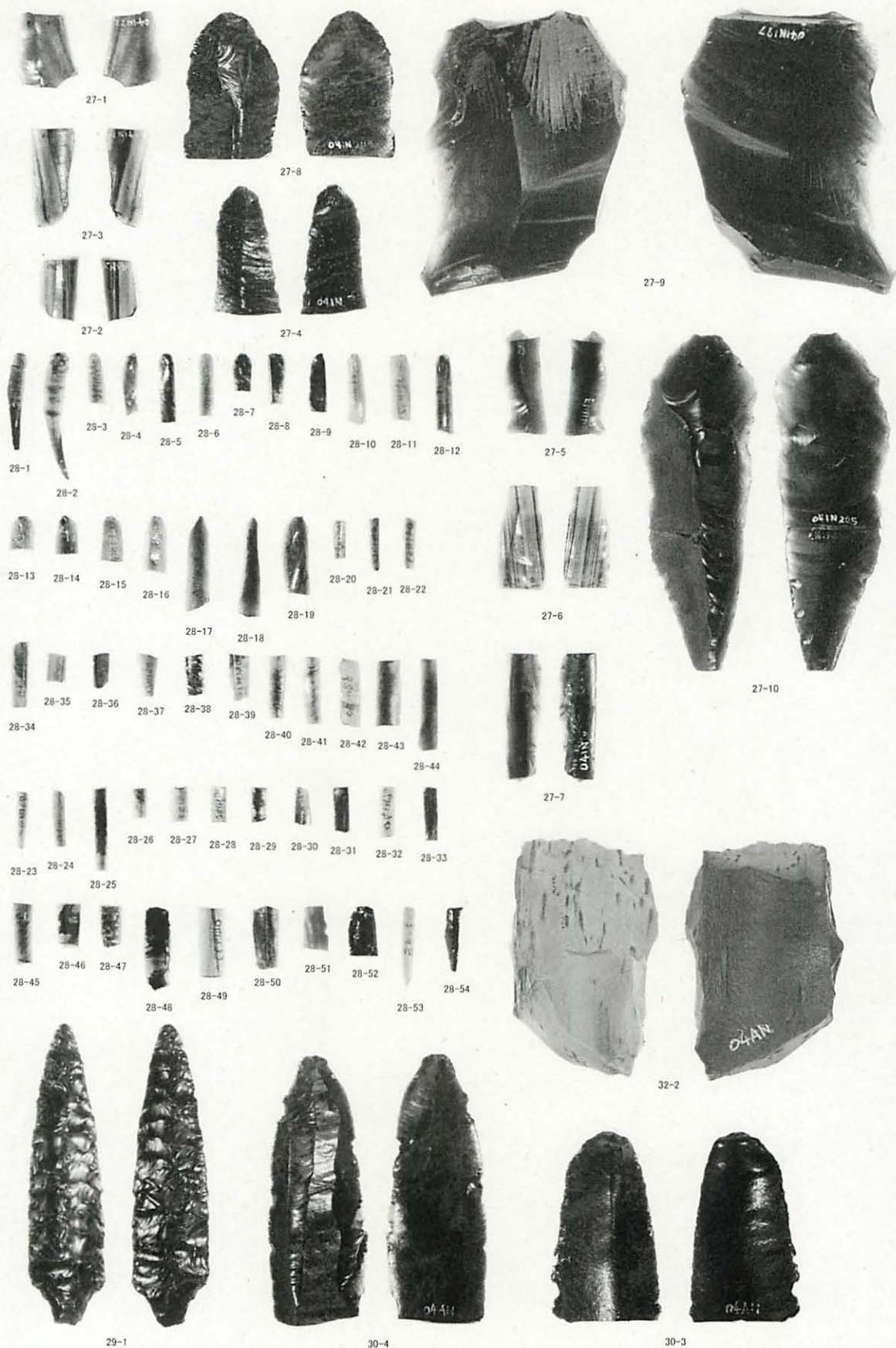
4. 石器 (4) 彫器・彫器削片・削器



5. 石器 (5) 搔器・尖頭器・錐形石器



6. 石器 (6) 斧形石器・石核・削器・削片・楔形石器・細石刃核・彫器・石刃・彫器削片



7. 石器 (7) 削器・搔器・石刃・細石刃・石核・有茎尖頭器・石刃

東京大学常呂実習施設研究報告 第8集

環日本海北部地域における後期更新世の環境変動と
人間の相互作用に関する総合的研究

2011年3月10日

編集 佐藤宏之
発行 東京大学大学院人文社会系研究科
附属北海文化研究常呂実習施設
北海道北見市常呂町栄浦 384
電話・FAX 0152-54-2387
